

# 意識の流れ

田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

## 第1巻



## 意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

田池留吉

ただ今から、毎日、田池留吉の磁場にあなたの心を向けるようにしてください。ただひたすらに、田池留吉の磁場を思ってください。そして、12月のUTA会でお会いしましょう。楽しみにしています。

12月のUTA会は田池留吉の磁場と反転、反転と肉体細胞の活性化、肉体細胞の活性化と自然治癒力のアップを中心に学びを進めていきます。

毎日、田池留吉の磁場を思い続けてきた方は、所定の用紙に4桁の番号を書いて例の箱に投入してください。詳しくは、開会当日にお知らせします。

12月のUTA会で次のような実習をします。予習しておいてください。

### 実習1 田池留吉の磁場を思う瞑想

田池留吉の磁場が信じられるようになればなるほど、そのすごさが分かってきます。

### 実習2 マイナスの情報の確認

発信しているマイナスの情報に思いを向ける。

痛い、辛い、何とかしてほしい、不安、恐怖だと思っ  
ている身体の部位に思いを向ける。

### 実習3 反転

肉体細胞に向けて、ありがとう、ごめんなさい、あり  
がとうと思いを向ける。

反転（ハンテン）と、この2文字に思いを向ける。

そして、もう一度、田池留吉の磁場に思いを向けて瞑  
想を続ける。

「ありがとうございました」と実習を終わる。

マイナスの情報がプラスの情報に変わったかどうか確認する。

第9回UT A会、ありがとう。更に一步前へ共に進んでいきま  
しょう。

実習1、2、3に続いて、次のような試みをしていきませんか。  
さらに良い水を飲むようにしましょう。

1. コップに飲用水を入れる。
2. 田池留吉の磁場を思う。
3. コップの水に向けて「反転」と発信する。
4. コップの水を飲む。

以上の1、2、3、4を参考にして、より良い水を作って、よ  
り良い飲み方で、飲用するようにしてってください。

飲用を続けてみて大変良かったと思われた方は、仲間の人達に

その喜びを伝えていってください。

上記のような要領で、転写と反転の思いをうまく使って、水を飲むようにしてはいかがでしょうか。

思う ⇒ 感じる ⇒ 信じるの繰り返し。

何を思うのか、なぜ思うのか 田池留吉（意識）の世界 田池留吉の磁場 肉体細胞 反転 0歳 あなたは、「思う」ことの大切さ、すごさを知っていますか。

心の向け先は間違っていないか、ずれていないか。

発信している情報はプラスか。

あなたの人生の目的は あなたはなぜ生まれてきたのか、死んだらどうなるのか分かっていますか。

この学びは、病気直しを目的に進めているものではありません。私の指示に従って実践していけば分かることです。健康は大切です。しかし、健康のために生まれてきたではありません。人生の目的を達成するためには、健康であることは大事なことです。

あくまで次元移行に向けて、意識は流れ、学びは進められていています。本当の自分と出会ってください。母なる宇宙に帰ってきてください。

反転の2文字は、ただただ、そのためにお伝えしています。肉が基準の方には、病気直しのためのものと思えるかもしれませんが、どうか、実践を通して正しく理解してほしいと思っています。

私から発する言葉、情報、そして、現象は、実践を重ねていかなければ分からないことが多いと思います。

病気は必ずしもマイナスのメッセージではありません。プラスに反転できます。その術を学んでください。健康は必ずしも幸せを約束するものではありません。本当の幸せ、喜びを私はずっとお伝えしてきました。誰でも幸せ、喜びです。でないのは、あなたの無知と欲とエゴが原因です。

次元移行に向けて一步一步前へ進んでください。その時、あなたは本当の幸せとは何かが分かってくるでしょう。

良い水を作るたびに思えよ 「反転」

良い水を飲むたびに思えよ 「反転」

田池留吉の磁場を思うたびに思えよ 「反転」

肉体細胞、ありがとう、ごめんなさい、ありがとうと思うたびに思えよ 「反転」

本当の自分との出会い、次元移行に向けて 「反転」 よろしいでしょうか。

平成24年の年は、反転の年にしませんか。

反転と思えば反転、私の指針通りに進めていけばできます。反転と向けて、より良い水を作って、がぶがぶ飲む。肉体細胞あり

がとう・ごめんなさい・ありがとうと反転、身体が癒されていくのを体感していく。そして、プラスの情報が発信されていくのが嬉しくて、喜び、喜び、そんな年にしませんか。

勿論、田池留吉の磁場は絶対です。呼び、思い、感じ、信じていけば、間違いなく、私が伝えている通りになります。

次元移行を目指して、田池留吉の磁場、反転、反転と前へ前へと進んでいきましょう。

太陽、空気、水にありがとう、ごめんなさい、ありがとうの思いを向けてください。あなたの心にどのように響いてきましたか。

肉体細胞にもありがとう、ごめんなさい、ありがとうの思いを向けてください。

みんな私です。私は愛、意識です。私に帰ってきてください。私はプラス、私から離れることは、マイナスです。

常にプラスの情報を発信するように心掛けましょう。病や諸々の苦悩の原因はマイナスの情報発信にあります。心してください。

明日から2012年、神と金に振り回されない年にしませんか。神も金も私から離れていった人間の無知とエゴと欲が作り出したもの、真実ではありません。

「私はあなた、あなたは私、一つ」は次元移行へのキーワード、片時も忘れないように。

物質的磁場、有限磁場では、本当の健康を望むことは難しいでしょう。無限磁場の中でこそ本当の反転、健康が期待できるでし

よう。本当の健康とは、喜び、喜びのエネルギーを宇宙に流し続けている状態と言ってもいいでしょう。私達は意識です。私達は無限です。肉を基盤とする健康は本物だと言えるでしょうか。

田池留吉の磁場は無限磁場、反転は本物です。実践を通して確認をしてください。心で確認してください。

私は、決して、物質的磁場、有限磁場の効用を軽視しているわけではありません。人生の目的は、健康であることではありません。健康はその大いなる手段だと申し添えておきます。

父を思い、母を思えば、最高最深の恩と伝わってきます。私をこの世に出してくれた大恩人と心得て生きてきました。父を思い母を思えば、喜びが込み上がり、時として涙します。ただただ幸せです。お父さん、お母さん、ありがとうと発信しながら偉大なる我が人生を全うしていきます。

有限の世界に、いたずらに留まることなく、無限の世界に思いを馳せて行ってください。有限の世界に留まる限り真実は見えてこないでしょう。

有限の世界にしながら無限の世界の自分を信じていくようにしてください。

本当の自分自身と出会い、真実に目覚めることこそ人生とすべきでしょう。無限の二文字を片時も忘れないであなたの人生を進んで行ってください。

生老病死も貧困、戦争も、災難も、無限の世界から思えば、みんな喜びの、プラスのメッセージと受け取ることができるのではないのでしょうか。マイナスのメッセージとしか受け取ることができない心をしっかり見極めていきましょう。

反転積もりて反転となる。

反転 良い飲用水、健康、自己供養

反転 無限の存在、意識の転回

反転で良い水を作って飲用していくようにしましょう。お茶、コーヒーに、炊飯などに使っていくみましょう。

マイナスの情報をどんどんプラスのものに反転していきませんか。

私がお伝えしている反転、転写は、どなたでも、どこでも、いつでもできます。試してみてください。水で実験すると、美味しい水ができます。力のある水、肉体細胞を活性化し、自然治癒力を高める水ができます。現在、沢山の方々が実証しつつあります。さらに、良い水を作り、飲むようにしていけば反省、自己供養が捗っていくようになります。

有限の世界で心を小さくして生きている人々は、無限の世界を

思い、感じ、信じる生き方を始めてください。反転、転写の思い・エネルギーを信じて発していくのです。そして、田池留吉の磁場をどんどん信じていける人生を楽しんでいってください。あなた方はそのために生まれてきたことに早く目覚めてください。

意識の転回なくして何も分かってきません。意識の世界は無限、真実です。

故郷（ふるさと）の歌を歌っていますか。

トントントンツーツツートンツーツーツーと口ずさんでいますか。

兎追いしかの山 小鮎釣りしかの川と歌っていますか。

あなたの故郷はあなたの心を癒すでしょう。あなたの故郷の太陽、空気、水はあなたの心を癒します。あなたの故郷の自然、人々はあなたの心を癒してくれると思います。あなたの故郷の食べ物や飲み物をなるべく口にするのがいいことだと思います。疲れたらあなたの故郷に帰って心を休めてください。

あなたが生まれ育った故郷を忘れないようにしましょう。

あなたを生き育ててくれた両親を片時も忘れないようにしましょう。

0歳の瞑想を。母の温もりを。そして、本当の自分との出会いを。次元移行に向けて真っ直ぐに進んでいきましょう。

第10回UTA会、反転がテーマ、一人でも多くの方が、反転

の発信で、美味しくて力のある水を作って飲んでいただけるようにと思っています。そして、一人でも多くの方が、肉体細胞を活性化し自然治癒力がアップできるようにお手伝いしたいと思っています。よろしいでしょうか。

反転をした水を飲むようにしていけば、自己供養に役立っていきます。そして、間違いなく反省が進んでいくようになっていきます。反転はすごいことをあなたに気付かせていくでしょう。やがて意識の世界、無限の世界、そして、仕事をしていくエネルギーに驚嘆することになるでしょう。

一瞬に発信する反転、一瞬に発信する情報、エネルギーを大事にしていきましょう。

ところで、あなたは、田池留吉の磁場を信じていますか。信じようとしていますか。それとも、まだまだ信じられませんか。反転のエネルギーは、田池留吉の磁場をどれだけ信じているかにかかっています。

では、U T A会の日まで予習をしっかりとしておいてください。

## 田池留吉の磁場と反転のすすめ

### 1. 水道水を反転する。

- a. コップ2つA、Bを用意する。
- b. コップA、Bに水道水を入れる。
- c. コップAの水道水を反転する。
- d. コップA、Bの水道水を飲む。美味しいか。
- e. コップA、Bの水道水をリングテストする。力があるか。

2. 良い水を反転する。
3. マイナスの情報を反転する。
4. 遠隔反転する。

反転は喜びのエネルギー、田池留吉の磁場のエネルギーです。田池留吉の磁場を信じる方は誰でも反転できます。それは、反転という仕事は、田池留吉の磁場、喜びのエネルギーがしているということです。反転できることは喜びです、決して己を誇るものではありません。誇ることはマイナス、磁場をますます信じていくようにしてください。

反転のすすめは、本当の自分自身に出会うことを目指しています。決して、反転は、病気治しだけで終わってはなりません。田池留吉の磁場を思い、感じ、信じていくようにすれば、信が強くなっていきます、反転の効果は上がっていきます。肉体細胞は活性化し、自然治癒力は高まり、更に、自己供養は進むようになっていきます。そして、意識の流れに乗って次元移行に向かって進んでいけるようになるでしょう。

いずれ、転写の実習のお手伝いをさせていただきます。それまで、反転がしっかりできるように励んでください。

昨日も今日も、毎日のように嬉しい便りが来ます。大変嬉しいです。ありがとう。

「田池留吉の磁場を信じて反転やっています。驚きと喜びの日々、ありがとうございます」「反転の日々を送っていて、ようやく、この学びを続けていて良かった。本当に良かったと思えるようになりました。ありがとうございました」等々。

どうぞ、皆さん方も、田池留吉の磁場を信じて反転の毎日を過ごしてください。「田池留吉の磁場を思い、感じ、信じ、反転」を繰り返し繰り返し続けていきましょう。

反転は喜びのエネルギーです。マイナスの情報をプラスの情報に変えます。プラスの情報をマイナスの情報に変えることはありません。したがって、反転して反転しても元に戻るということはありません。

田池留吉・アルバートの意識、その世界、エネルギーがなかなか信じられなかった学びの友達も、反転の実践を通してようやく信じられるようになってきたと伝えてくるようになってきました。嬉しいですね。

田池留吉の磁場が、いよいよ学びの友の心や体を通して真実のエネルギーを、喜びのエネルギーを発現してくるようになってきました。こんな嬉しいことはありません。どうか、田池留吉の磁場を信じ、反転と、有意義な毎日を過ごしてください。

田池留吉の磁場を強く、深く、大きく信じる学びの友達よ、私、田池留吉と共に進んでいきましょう。私は、必ず、真実の喜びと幸せをあなた方にお送りしましょう。大いに期待しててください。信義誠実を大切にする友を裏切るようなことは絶対にしないでしょ。そのような友達と残された時間を共有していきたいと思っています。これが、私の唯一の願いです。意識の流れに沿って、次元移行に案内する私の仕事を一番大切にしています。どう

ぞ、一人でも多くの方々、私と一緒に進んでいきませんか。

私は、いつも、あなたが真実に目覚められる日を心から待っています。

第10回UTA会、あと1カ月後、学びがあなたの生活の中心になっていますか。

1. 「意識の流れの学びを進める」を日々実践していますか。Ⅰ. 入門とⅡ. 実践・じっくり基本をしっかりとってください。

2. 田池留吉の磁場と反転、転写、3月の会に参加する方は、水道水を反転して飲んで美味しい水を作る、Oリングテストして身体に良い水かどうか調べる、できるだけ実験しておいてください。

母親の温もりを感じているか、心の針はどこに向いているか、あなたはどうか。

反転のエネルギーは田池留吉の磁場のエネルギー、喜びのエネルギーです。実験を通して確認を。

田池留吉の世界とか田池留吉の磁場とか言っていますが、元々その世界、磁場には田池留吉という名前などは付いていません。

私、田池留吉だけが伝えているから、また、そのように名前を付けて伝えた方が伝えやすいからそのように言っているのです。

しかし、その世界、磁場は喜びのエネルギー、愛、そしてあなた方自身でもあります。だから、それ以外の世界に心を向けるこ

とは間違いということになります。このことは、自分の心が見えてくるようになれば分かってくることです。しかし、欲を張りすぎるもの、他力の反省を一向に進めないものは、田池留吉の世界、磁場に心の針を向け、思い、感じ、信じるようにはなかなかないようです。己が偉すぎるのかもしれませんが。

「私はあなた、あなたは私、一つ、私は愛、喜びのエネルギー、私は私に心に向け、私を信じていこうとするすべてのものに、常に、永遠にそのすべてを反転と発信しています。私には、マイナスの情報の発信、伝達、記憶といったものは全くありません」と、私からのメッセージが、現在、肉を持っている私の意識から伝わってきます。マイナスの情報の発信、伝達、記憶は、肉を本物とする人間のみの営みです。死に近い病気や、難病や、こじれた親子や夫婦の争いといったものの原因は大半ここにあります。勿論、戦争や災害といったものも同様です。しかし、自分達の間違いに気づき、意識の流れに乗り、意識の転回、次元移行へと大転換する転機でもあります。一に自己選択・自己責任、自分を生かすも殺すも自分自身にあります。よろしいですか。

## 反転実験 1

自分の眼鏡を反転、ぴったり自分に合ったものになりました。コンタクトレンズはどうでしょうか。

## 反転実験 2

みかんを反転、Oリングテストをしました。力がありました。

## 反転実験 3

自分の総入れ歯を反転、ぴったりでした。部分入れ歯、差し歯も試してみてもは。

## 反転実験 4

化粧水を反転して使うと、どうでしょうか。

## 反転実験 5

良い水を作って反転、家庭の浴槽内の浴水に10滴程度入れてはどうでしょうか。よく温もります。

## 反転実験 6

コーヒー、ココア、牛乳などを反転して飲んではいかがでしょうか。口当たりが良いのではないのでしょうか。

遠隔反転実験をしてみましたか。たとえば、大阪在住の方が沖縄在住の学びの友と、お互いに、コップに水道水を入れて、反転と発信して、飲んで水の美味さを、Oリングテストをして水の力の強さを調べてみてください。できれば、遠いアメリカの方達とも実験してみてください。

その他、色々実験してみてください。

実験がうまくいくには、母親の温もりと心の針の向け先が肝要。

磁場・反転、死ぬまで元気で自分の人生を全うしてください。

磁場・反転、死ぬまで元気で意識の転回、次元移行を目指してください。

磁場・反転、死ぬまで元気で自分が永遠の命・エネルギーだと信じ続けてください。

磁場・反転、死ぬまで元気で本当の自分自身に出会う道をひたすら歩み続けてください。

磁場・反転、喜びのエネルギー、確実に、マイナスの情報をプラスの情報に変えていきます。

磁場・反転、愛、愛はあなた、あなたは愛、信じて信じて死ぬまで元気で生きていきましょう。

有限の世界、小さい小さい世界。無限の世界、大きい大きい世界。小さい、狭い世界から大きい広い世界に自分自身を解放していきませんか。磁場・反転を信じて実践して行ってください。

私をご案内している反転、田池留吉の磁場に心の針を向けて反転を実行してください。反転は喜び、温もりのエネルギー、マイナスの情報を確実にプラスに変えていきます。

反転は、これから驚異的な進展を遂げていくでしょう。どうか信じて実践して行ってください。

良い水を反転してより良い水を作っていくことから始めてください。やがて、本物の喜び、温もりが感じられるようになり、信じられるようになり、そして、さらに意識の転回が進み、意識の流れに乗って次元移行に向かっている自分自身が見えてくることでしょう。

第10回UTA会、現在、733名の方が参加予定。大いに楽しみにしています。

さて、田池留吉の磁場に心に向けて反転、より良い水を作って飲んでいますか。美味しくて、力がありますか。

反転は喜び、マイナスの思い・情報を間違いなくプラスに変えていきます。あなたが発信してきた、発信しているマイナスの思い・情報を反転と発してプラスに変えていってください。所謂、自己供養、頑張ってみませんか。待っています。

反転は、誰でも、どこでも、いつでもできます。田池留吉の磁場を信じている方、信じていこうと思っている方なら誰でもできます。私を信じて頑張ってみませんか。

## 勉強会のテーマ 反転と人生

私は意識です。私はあなた、あなたは私、一つです。

意識は愛。意識は喜び・温もりのエネルギーです。

意識は無限大、永遠に存在します。有限の世界、物質の世界か

らは理解できません。ただ、ひたすらに思い、感じ、信じることを積み重ねながら信を強く、深く、大きくしていけばよい。

- 1 出生と死の意味。
- 2 意識の転回。
- 3 自分の心を見る。発信している思い・情報がプラスかマイナスか。
- 4 肉体と意識。意識は本来はプラス。喜び・温もりのエネルギー。肉体が自分だと思ふエネルギーはマイナス。
- 5 反転はマイナスをプラスに変える。反転はプラスのエネルギー、喜び・温もりのエネルギー。
- 6 温もりとは母親の温もり、私が伝えようとしている磁場・意識は喜び・温もりのエネルギー、プラスのエネルギー。
- 7 母親の反省と0歳の瞑想が極めて大切。
- 8 現在発信している思い・情報を反転とプラスに変えれば、過去世も来世もプラスに変わる。これが救済・幸福への道。
- 9 マイナスの思い・情報の発信が争い、病気、苦しみなどの原因。
- 10 意識の流れを感じてください。天変地異と未来・次元移行。

反転、マイナスの人生をプラスの人生に反転しませんか。決意が肝要。どうですか。

それには、お母さんに発信したマイナスの思い・情報を反転、次に、他力信仰に発信した思い・情報をすべて反転していきまし

よう。

反転を習慣化していきましょう。反転は、不思議、驚き、喜びのエネルギー、すごいプラスのエネルギーです。どうぞ、反転人生を楽しんでいってください。

第11回UTA会、近づいてきました。反転の予習をしましょう。

思い、肉を本物・基盤とするものと、意識を本物・基盤とするものとあります。前者はマイナスの思い、後者はプラスの思いとします。しっかりと、マイナスの思いを反転していきましょう。

反転1 水をより美味しくて力のあるものにする。

反転2 眼鏡、入れ歯、果物、コーヒーなどの飲食物等々を自分に合ったものにする。

反転3 肩とか腰の痛みをやわらげる。

反転4 マイナスの思いをプラスに変える。

反転5 意識の存在、流れを自覚し、意識の流れに乗って次元移行を目指す。

反転を日々遂行していけば、間違いなく生活は調ってくる。人間万歳、人生万歳となる。

「意識の流れ」の本を、第10回UTA会資料を、その他の本を0リングテストしてみてください。

さらに、ホームページの一部を印刷してテストしてみてください。

## 田池留吉の磁場と反転 塩川香世

心で分かる、心でしか分からない。喜びはパワー、温もりはパワー。

田池留吉の磁場に心の針を向ける、合わせる。今回からのセミナーで、それをよりいっそう強く感じました。

また、身体の不調な人も結構多いんだなあと思いました。しかし、それは、言ってみれば、肉体細胞からのシグナルをチャンスにして、肉体細胞の思いを心で感じ受けていける喜びと幸せを学んでいけるということだから、すべては喜びだけなんだということも、色々なケースを通して学ばせていただきました。そして、淡々と日々瞑想を重ねていくことに尽きることも再確認でした。

私は、学びの時間と空間をいただき本当に幸せです。今回のセミナーでは、トントントンツーツーのリズムで始まるふるさとの歌の出だしに異語が入っていたことが、私にとっては最高に嬉しかったです。あの僅かな時間が私にはたまらなかったです。本当に、本当に嬉しかった。田池留吉の磁場の温かい温もりのエネルギーを心に感じているからこそ、私達のふるさと、母なる宇宙へ帰れる喜びだけが心に染み渡っていくのでした。その喜び、嬉しさの中にあることを感じ、本当にありがとうございました。

セミナー初日に発する次元移行の言葉、その言葉の響き、波動、本当に嬉しかったです。

二つのガラスコップに水道水を注いで、田池留吉の磁場を思い、

そして反転と思う。そしてパワーの違いを確かめる。

それぞれ、実験されましたか。田池留吉の磁場に心の針を向ければ向けていくほどに、その磁場のエネルギー、喜びのエネルギーが心で分かってきます。反転と思いを向ける喜びを、肉を通して学ぶお勉強をさせていただき、それぞれに何かを心で感じられたと思います。

自分達の中には溢れるほどの喜びのエネルギー、パワーがあった、喜んで、喜んでいけばいいだけだった、ありがたい思いがどれだけのパワーを発信していくか、その喜びの自分と出会えることがすべてだった、田池留吉の磁場を思い瞑想を重ねていけば、そういうことが自ずと心から湧いて出てきます。

そして、それを今度は実際に確かめてみる。たとえば、先ほどの実験のような感じで、田池留吉の磁場、そして反転と思いを向けていけば、自分の口にする食べ物、飲み物、どのように自分の中で変わっていくか、そういう楽しみもまた、この学びを前に進めていく大きな力となっていくような感じですよ。

マイナスをプラスに変えていくパワー、エネルギーは自分の中にある、心の針が正しい方向に向いていけば、自分の中で確信できるでしょう。

瞑想は嬉しい。瞑想をして自分を思うことがたまらなく嬉しいです。みんなみんな温かい温もりの中にあつたことを感じられるから、たまらなく嬉しいですよ。

反転と告げてくれる私がある。その思いに私の中は反応します。

自分の中から沸き起こるエネルギー。反転と思えば、喜び、温もりがどんどんどんどん心からせり上がってきます。

苦しみ喘いできた私が私に喜びと温もりを伝えてくれる。この喜びは数限りない転生を経てきたからこそ味わえる最大の喜びです。

田池留吉の磁場の中で、母の温もりの中で、自分を包んでいく喜び。反転と心から発するエネルギーは、本当に優しい母の思いです。喜びだけ。温もりだけ。どんどんどんどん自分の中を反転していく喜びを、今の肉を通して感じています。

私は、自分がたまらなく愛しいです。自分にありがとうと伝えれば、ありがとうが返ってきます。

こんな時間と空間の中に自分をいざなってきたことに、ただただありがとうしかありません。

瞑想は喜び。瞑想そのものが喜びです。

お水の飲み方が書いてありましたが、田池留吉の磁場と思って、そして反転とお水を飲むだけでなく、そのまま瞑想の時間を持ってください。

瞑想です。自分で体験してみてください。

瞑想をすることが本当に嬉しくて、喜びになってくるでしょう。

最初は、意識的に、田池留吉の磁場、そして反転としていたものも、やがてはそれがもっと自然になってきます。

私は私が飲むお水は、口にした瞬間に、その質が変わっていくことを感じています。

そのエネルギー、パワーが自分の中からどんどんどん湧いて出てくることを感じているからです。肉体細胞の思いとマッチして、自分の中からどんどん喜びと温もりが出てきて、そのエネルギー、パワーが肉体細胞を活性化させていくことも感じています。

そして、私の喜びはそこに留まることなく、たくさんのたくさんの自分を包んでいくエネルギーを発信していける喜びが広がっていきます。

だから、瞑想は喜びです。瞑想をする時間は絶対に必要です。

呪文のように、田池留吉の磁場、反転と言ってみても仕方がない。

自分の学びを前に進めていくには、きちんと基本を押さえていることが絶対条件です。

私が口にするお水の意識と、そのお水が浸透していく肉体細胞の思いを感じて。

私の意識の世界はとても喜んでいきます。お水の意識が私のこの口を通すことにより、肉体細胞の喜びとよく合うんです。

私は田池留吉の磁場、そして反転と心の中で呼んでいます。私の中では、そう、自然にそのようになっています。今更ながらと思います。しかし、私はあえてそれをやってみました。

はい、その通りでした。私の肉体細胞は喜んでいきます。私は、身体が元気だから、肉体細胞に思いを向けることをあまりしてこなかったです。

それがこのお水に巡り合って、私は肉体細胞に思いを向けてきました。自分の肉体細胞は喜んでいることを感じてきました。そして、田池留吉の磁場、反転と私の中で呼び続けていくうちに、私の中は本当に喜んでいるのが分かるんです。

田池留吉の磁場は、宇宙、私にとっては宇宙です。アルバートです。次元移行です。それ以外に何もありません。

肉体細胞を活性化させる、それはもちろんいいことだと思います。しかし、私の喜びはそこに留まるものではありません。

ただただ田池留吉、アルバート、宇宙、喜び、喜びへ次元移行していく、その多くの多くの意識達を心に感じ、私はお水を飲んでいきます。

その私の姿勢は何ら変わることはありません。今、田池留吉の磁場と皆さんが呼んでいます。私も、喜び、喜びで、田池留吉の磁場、そして反転と呼ばせていただいています。

心の中で喜んで、喜んでお水を飲んでいる私。心の中でその思いを感じています。

ご自宅で実験してみましたか。

ガラスコップにお水を入れて、田池留吉の磁場、そして反転の思いを発信して、そのコップを片手に持ち、もう一方の手の親指と人差し指をリングにして、そのリングの固さをもう一人の人に確かめてもらう。

何もしないお水とその違いを体験してみる。

これはいったいどういう現象なのか。

その不思議をまず体験して、そして田池留吉の磁場、反転と  
思いを向けたコップのお水を飲み干し、自分の肉体細胞に思いを向  
けながら、しばし瞑想をする。

そういう実験をご自宅で試みられましたか。何事も自分で体験  
しなければ納得できないと思います。

目に見えない世界、エネルギー、パワー、そして思うというこ  
と、思いの向け先の大切さ、ただ思うということと念じるという  
ことの違い、その他、様々な自分の心癖だとか、間違いに自分で  
気付いていかれるのではないのでしょうか。

まずは目に見える形を通して、目に見えないエネルギーが絶え  
ず働いていることを知り、それを信じていくことから始めてくだ  
さい。

自分の心で知っていけば、瞑想は必ず楽しくなります。瞑想を  
したくなります。肉体細胞に思いを向けてと言われなくても向く  
んです。田池留吉の磁場、反転と自然にやっています。

そして、もっとやっていけば、次元移行へ向けての喜びしか存  
在しないことが分かってきます。

試みて、まだ、一日、二日ほどだけど、私は転写ということが  
自分の中ですごいことだと感じてきました。

お水に情報を転写して、そして反転とします。そして、今度は  
そのお水に意識を向けて、自分の中のプラスのエネルギー、パワ  
ーを受信します。

瞑想の時間、私はそんな試みを始めました。

お水からすごいエネルギー、パワーを感じます。お水からというのには語弊があるかもしれません。

すべては私の意識の世界の中の出来事です。言うまでもなく、田池留吉の磁場の中です。

私の心は、どんどんそのエネルギー、パワーを吸収している。吸収して、さらにそこからどんどん喜びと温もりが湧いて出てくる。そんな感じです。

だから、瞑想をすることが楽しい。

楽しいだけではなくて、次元移行へ向けて、私には私の計画があり、それは頓挫とんざすることがあってはならないという毅然きぜんとした思いが伝わってきます。その思いが私にはたまらなく嬉しいのです。それが喜びだと信じられるからです。

反転は言葉ではありません。反転は波動です。エネルギーです。反転という思いは、ただただ喜び、温もりのエネルギーです。パワーです。

そして、田池留吉の磁場を感じていけばいくほど、反転のエネルギー、パワーが増すことは確かです。ああ、思うことはすごいことなんだ。思えることはすごいことなんだ。そう実感しています。

私の中で反転の思いが広がっていくとき、そこにはすごいエネルギーを噴射しているのが分かります。すごいです。

ありがとう、嬉しい、喜びと、すごい勢いで迫ってくるのです。そこには次元移行へ繋がる喜びしか感じません。

心の針はただ一点を指している。だから、ああ、このまま、瞑

想、瞑想、瞑想を重ねていけばいいことだけが分かります。淡々とそして喜んで歩みを進めていけばいい、そう思えること自体がすでに喜びなんです。

数限りない転生を重ね、ようやく、自分を大切にする意味を知った喜びは、私の中で決して色褪せることはありません。

エネルギーは仕事をする。喜びのエネルギーは喜びの仕事をする。私は転写と反転ということを通して、それを自分の中で確認しています。

瞑想を重ね、そして感じたものを実践する。その結果をまた自分の中に戻して瞑想をする。

自分の中で学びを繰り返し、繰り返し、私は、今世自分に肉を持たせた喜びと意味を深く、深く感じています。

学びに集中できる環境が整っていることに深く感謝です。

私には、次元移行へ向けての思いしかありません。そのために、今世を持ち、来世を持つことが明確となっているから、田池留吉の磁場、そして反転と提示されれば、私は率先して自分の中で取り組んでいます。

私にはアルバートしかないんです。こういう表現をすれば、頭が混乱する人がいるかもしれませんが。田池留吉と一本で表現していけばいいのかもしれませんが、意識の世界、波動の世界、そのエネルギーを感じていけば、必ず、アルバートと出てくるのです。

アルバートと呼ぶことがどれだけの喜びであるか、それはそれぞれの心で学び感じていかなければ理解できません。

しかし、今は、田池留吉の磁場、そして反転です。

このことに集中して、学びに触れたことを最大限に自分に活用していきましょう。

地獄の奥底から這いずり上がってきた私達には、なかなか信じていくのは難しいかもしれません。しかし、もがきながらも、やはり本当のことを自分に伝えていくことが、自分に対する最大の愛、優しさなんです。

12月のセミナーで、「私、異語が出ないんですけど」と言っ  
てこられた人がいました。今、どうでしょうか。あなたの口から異語が出てきましたか。

眉間に意識を向けて、そうですね、まず肉から入りましょう。セミナー会場に立っている田池留吉の姿を思い出してください。

そして、次に、田池留吉の磁場、お母さん、ありがとうと心で思ってみてください。

あなたの心からどんどんどんエネルギーが出てきます。

田池留吉に歯向かってきたエネルギーがどんどん出てくるはず  
です。

目を閉じて素直にその思いを、あなたの口から吐き出しまし  
ょう。

最初は音でいいんです。異語は言葉ではありません。音を口から出して  
ください。アーでもウーでも何でもいいんです。口を閉ざして  
いないで、自分の外にエネルギーを音として出してください。

それが、やがて繋がってきます。アー、ウーが音として繋がってきます。

あなたがあなたの中と対話する、田池留吉の磁場と思いながら、お母さんと思いながら、どんどん自分と対話する、その心地よさを、どうぞ、あなたの口からどんどん音を出して感じていってください。

口を動かして、音を出して、涙も流して、どうぞ田池留吉の磁場、お母さんの懐の中で、自分を解き放していく喜びをどんどん味わってください。

そんな瞑想ができる時間と空間、できる限り確保して、自分を感じていってください。

地獄の奥底から這い上がってきたからこそ、田池留吉の磁場、反転と思いを向ければ、ただただ喜びのエネルギー、パワーが自分の中を埋め尽くしていくんです。自分を反転させる喜び、幸せは何度感じてもいいものです。

それがどれだけ嬉しいか、喜びであるか。今、本当に肉を持ってその嬉しさ、喜び、幸せを満喫できることに、私はただただ感謝の思いしかありません。

自分の中を反転させる、つまり自己供養の喜び、幸せを味わっている今です。今世です。この術を心で知ったから、私は、私の人生は喜びなんです。

田池留吉の磁場と心から呼べる、思える。こんな幸せはないでしょう。感じられるから信じられる。信じられるからよりいっ

そう感じていく。感じるのは、喜びと温もりだけ。響いてくるのは、喜びと温もりだけ。ありがたいの思いだけ。これはすごいことです。こんな世界が本当にあったんです。学びに触れ、学びを深く進めていけばいくほど広がっていく世界があります。思うこと、思えることの喜びをかみしめています。

自分を自分でいざなっていく喜びを学んできました。学んでいます。

温もり、優しさ、そして喜びだけが自分をいざなっていくことを知りました。そんな本当のエネルギー、パワーがあるんですよ、その本当の自分を知りなさい、セミナーを通して本当のことを教えていただきました。

すごい時間と空間をいただきました。

本当にありがとうしかありません。

今は、田池留吉の磁場と思い瞑想を続けています。より良いお水を作ってより効果的に飲む、もちろん身体にもいいでしょう。肉体細胞の活性化に繋がっていきます。

ただ、私はそれがメインではありません。喜んでいる肉体細胞とともに思いを向ける、意識の世界へ思いを向ける、次元移行の喜びを感じる、そのために今という時間、今という肉を用意している、そういうことをお水を作り、飲むことによって、確認しているのです。

そして、瞑想を重ねて、田池留吉の世界へ思いを向けていけばいくほど、より良いお水もでき上がるし、それを口にすれば、さ

らにその効果は私の肉体細胞に発揮していくことも私は感じています。

それは、瞑想があるからです。心の針を向け合わせることをしているからです。私のメインはここに 있습니다。

だからお水を作ることも飲むことも楽しい。本当に楽しいです。

どこにいても何をしていても、ふっと思える。田池留吉と思える、磁場と思える。嬉しいなあと瞬間に私の心は飛ぶ。どこにいても何をしていても、ふっと思えばそんな状態。

意識ってすごいと思います。

それを瞑想という集中的に思える時間と空間を自分に用意し、そして心はどんどん解き放たれていく。こんな嬉しい肉の時間はない。

私はもうどんどん前へ、前へ進んでいく喜び、手ごたえを感じています。

ああ、私の意識の世界、私自身を感じていけることが、本当に幸せだと実感しています。

だからどこにいても何をしていても、思えば嬉しいから、私は安心です。ゆったりとしています。何をどのように学んでいかなければならない、そんな思いは私にはありません。

ただゆったりと自分を思い、そしてこれからの時間に自分を委ねていけばいいだけ。田池留吉、ありがとう。お母さん、ありがとう。そしてたくさんの自分にありがとう。

私の心は、次元移行と思えば、どんどんどんどん広がっていき

ます。喜びだけが私の心に広がっていきます。

たくさんの私とともに、次元移行できる準備を淡々と整えていることに、私は喜びで思いを馳せています。300年の時間が心に迫ってきます。

何が本当で、何が喜びで、何が幸せで、何が温もりなのか、自分の心でしか分からないことだから、自分の心で知っていく以外にありません。

私は、次元移行と思えば自分の心が広がり嬉しくなっていくから、ああ、この世界を大切にしていけばいいんだ、自分の中で育ていけばいいんだと感じています。

私の信じているものは、瞑想をして心に響き伝わってくる思いです。

この中に自分がすうっと溶け込んでいくとき、ああ、私は本当に幸せだと感じます。

私はその心で生きていけばいいことも知っています。

私には何が必要で、こうしなければならないということは何もありません。

もうすでに自分に必要なもの、必要なことは自分の中に伝えられていました。そんな自分の中をどんどん進み、どんどん広げていけばいいと、田池留吉の磁場も、反転もそして転写も、私に伝えてくれています。

感じて信じて歩む、また感じて信じて歩む、その良き循環、流れに私は巡り合ったことを、ただ喜んでいきます。

自分に用意してきた肉と環境、時間と空間、最大限に活用して自分を感じていく喜びを知りました。

プラスもマイナスもみんな私。それらは一つになって、自分のために生きる喜びを伝えてくれます。

私は、今の自分の人生、今の時間に大満足しています。

これほど、自分を思い、自分を大切にしようと思っただけの人生はありませんでした。

特に、マイナスがプラスに変わる嬉しさ喜び、変えていく嬉しさ、喜びを味わえる自分だなんて、本当に自分の中の自分に驚いています。

自分の外にパワーをエネルギーを求めてきた、安らぎ、優しさ、温もりを求めてきた、それが本当に愚かだったことを、今世の時間を通して知ったことが、私のこれからを大きく変えました。

何も要らなかった。私の中にすべてがあったことを、日々の瞑想を通し、ただ確認するばかりです。

自分を感じていけばいいだけだった。そして自分にありがとう、ありがとうと思いを向けていけば、ただ返ってくるのはありがとうの思いだけでした。

こんな簡単なことを、長い、長い転生を経てようやく知りました。だから私は嬉しいです。本当に嬉しいです。

田池留吉の磁場、反転、転写、これを繰り返し私の中で学習し

ています。すべては私の意識の世界の出来事。

田池留吉の磁場の中で、反転と転写という思いを向けることを楽しんでます。そして、その効果を私は自分なりに試みて、そしてまた瞑想をして、反転と転写を自分の中で繰り返すことをやっています。

人間には、反転とか転写の機能が備わっているなんて、形しか信じられなかった一昔前の私には本当に嘘みたいな話です。

しかし、反転も転写も意識の世界のこと。思いがエネルギーとなって仕事をするのを、自分の身近なものを使って体験できるお勉強は、それなりに楽しいです。

楽しみながら、そして一方で瞑想を重ね、次元移行へ心を馳せる。たまらなく嬉しい。本当、たまらなく嬉しいです。アルバートと呼んでいるたくさんの意識達を感じ、本当に幸せを感じます。ありがとう。思えばただただ嬉しい。思いを向ければ、ありがとうと嬉しさが込み上げてきます。

次元移行へ向かって突き進んでいる自分を感じられることが、私の最大の喜びです。

そこにはもちろん、田池留吉の磁場があります。そして反転とか転写とかそういうことを通して、エネルギーの存在を自分の身体で体験できる楽しみもあります。

しかし、私にはただこれからの300年の計画が嬉しく、嬉しく響いてきて、それが私の最大の、いいえ、意識の流れの最大のイベントであることが喜びとして感じられる。そこに私の今世の

学びが集約されています。

そこを外しては、反転も転写も殆ど意味をなさない。私はそのように感じ、ただ自分と向き合い、そして滞りなく流れている意識の流れを自分の心で存分に感じていこう、その思いだけです。

私には、その基礎があります。決して揺らがない基礎、そういうところから、私の中で田池留吉の磁場と思い、そして反転、転写を思い瞑想をすることが、本当にたまらなく嬉しい、喜びなんです。

一步、そしてまた一步と自分の中で歩みを進めていく、たくさんの自分とともに歩みを進めていく、このことを私はどれだけ心待ちしていたことか。瞑想をするごとにその私自身の思いを感じ、瞑想はただただ喜びです。

ありがとうございます始まり、ありがとうございます終わる瞑想。そんな時間と空間をたくさん、たくさん持ちたい、私の思いです。

すべては自分の意識の世界の中。

耳で聞いたこと、目で確かめたこと、身体で体験したこと、意識の世界を、形を通して学んでも、それを自分の意識の世界にどのように活用していくか、どのように自分と向き合っていくか、その実践は自分の意識の中の作業です。

どんなに頭は納得をしても、それがそのまま自分の意識の世界にすうっと反応していくか、すうっと意識の流れに乗っていくか、そういうものは、自分自身がしっかりと真正面から自分を見つめ、自分と向き合い、自分と語っていかなければ、本物の道筋を自分

の中で一步、また一步と歩みを進めていくことは困難です。

田池留吉の磁場、反転、転写という学びを提示され、それがいったい何を意味しているのか、それを自分の中で本当に知っていくには、そういう現象を通して、さらにそこから瞑想を重ねていくことが必要とされます。

もちろん、このことは瞑想を重ねていっている人には、お分かりかと思います。

瞑想はとても大切。瞑想の時間を本当に持つことがとても大切。私は、本当にそのように思います。

私が行っている反転。

そうです。私は自分の心の中に反転と思いを向けています。

私は自分の中を反転させているんです。

心の中の苦しさを喜びへと変えていく、そのエネルギーが、私は自分の中にあると思っています。そう信じています。

私は自分の中で反転と呼ぶとき、私の中が本当に喜んでいるのが分かるんです。

これは頭では分かりません。だから私は瞑想がとても楽しいです。

瞑想が嬉しいんです。瞑想をしていると私の心は広がっていきます。理屈ではありません。

反転という思いを向けていくとき、私の中が本当に、本当に喜び勇んでいます。これはどういう説明もつきません。しかし、私

は確実に次元移行へ向かって、喜び、喜びで進んでいっていると思います。

私はそれを信じています。この喜びのエネルギーが自分の中にあったことが確認できること、それが私の反転の作業です。

だから、反転という思いはとても嬉しいです。

喜び、喜びの自分と出会えます。温もりの自分があったんです。

私は自分に冷たかったです。私は自分の中を見ることなく、ずっと、ずっと存在していたことを知りました。そして今世、田池留吉と出会い、反転の思いと出会い、私は今までの学びを本当に自分の中で広げていける喜びを味わっています。

私にとって、瞑想が一番の喜びです。瞑想はとても大切だと私は思っています。瞑想こそ、私を広げていける唯一の手段だと思っています。

私の中に喜び、温もりが広がっていきます。

田池留吉の磁場、そして反転と思うことが喜びなんです。私にはそうです。そう思うだけで私の中は広がっていくのが分かります。

田池留吉の磁場も反転もエネルギーだからです。波動だからです。

言葉ではないんです。エネルギーです。波動です。だから、思うだけで、田池留吉の世界が広がっていくんです。私の中は、そのエネルギーに呼応していくんです。

極端な言い方をすれば、私の場合、田池留吉の磁場、反転でも

いいし、田池留吉だけでもいいし、もちろんアルバート、宇宙と  
思いを向けても、私の中は、温もりを感じ喜びを感じ、意識の流  
れを感じ、喜びということです。母なる宇宙へ帰る道筋は、私  
の中でしっかりとついているから、思う、瞑想をするということが  
すべてなんです。私は心の針を合わすことができる、しっかりと  
向けることができます。

そうでない場合は、田池留吉の世界とかアルバートとか宇宙と  
いうよりも、田池留吉の磁場そして反転と、たとえばお水を介し  
て学ぶほうが入りやすいかもしれません。

要は、何を思い、どこに心を向けているかです。その学習を今  
世の時間、しっかり積んでいかなければならないのではないでし  
ょうか。

本当に学んでいこうとするならば、田池留吉の磁場、反転は、  
比較的、取り組みやすいのではないか、私にはそのように感じら  
れます。

何をしてもふっと思えると、書いたことがありますが、  
本当に私の中はそういう状態です。

田池留吉、アルバートとともに、意識の流れを順調に滞りなく  
流れていく、そんな感覚が私の中に広がります。

それは日常生活の中で、何をしても、私はそこに振り回  
されることもなく、のめり込むこともなく、自分の中に田池留吉、  
アルバート、今は田池留吉の磁場、反転ということだけけれども、  
その思いが私の中を占めているのが分かります。

私は、田池留吉、アルバートの意識の世界と語り合えることを自分に約束して、生まれてきました。

今、私は、田池留吉の磁場と反転、その瞑想を繰り返し、重ね、それだけを望んできたことを確認しています。

この思いは非常に強いです。私の幸せ、喜びには選択肢がありません。

何はなくとも、田池留吉、アルバートの波動を心に感じ広げ、意識の流れを遂行していく思いです。

そんな意識の世界を抱えて、私はこの肉を用意してきた、250年後の肉を用意している、田池留吉の磁場を思えば思うほど、意識の流れの緻密さを感じずにはられません。

瞑想の中で、「人間はなぜ生まれてきて、なぜ死んでいくのだろうか」とふうっと問いかければ、「生まれて苦しみ、苦しみながら死んでいくなんてあまりにも哀れでした。仮に、形の世界ですべてが整っていても、肝心のものが整っていなくては、苦しみながら死んでいくことに違いはありませんでした。自分に本当のことが伝えられないということが、苦しみながら死んでいくということでした」と答えてくれる私がありました。

瞑想で自分と語り伝わってくる思いは、さらに私を前へ駆り立てます。

自分に用意した時間と空間の中で、自分を感じていけることが本当に優しいことなんだと感じます。

田池留吉の磁場の中にあることを本当に感じていけば、そこ

には苦しみも哀しみも何もなく、喜びだけが、温もりだけがあり、それが自分自身なんだと響いてきます。

田池留吉、アルバートを感じ、自分を感じていけば、自ずと心の中には喜びが広がっていきます。温もりが広がっていきます。それだけが私の真実だと確認する、私は、そのような瞑想を繰り返ししています。

何度しても、そうなんです。田池留吉の磁場も反転も転写も、アルバートも宇宙も、何もかも私の中でただ一点を指し示しているだけです。

そんな瞑想を重ねていけることが、もうすでに幸せなことでした。

そうでした。もうすでに幸せでした。

田池留吉の磁場、そして反転と思えば、私の中からどんどんエネルギーが出てきます。そして、それは異語となり、私の口から飛び出てきます。

とても心地よいです。私が広がっていくのが分かります。

私は、田池留吉、アルバートに意識を向けながら、田池留吉の磁場の中でこのような瞑想を続けていきます。

私の中で、田池留吉の磁場、その世界は大きく、大きくなっていくことを感じます。田池留吉の磁場のエネルギーを、自分の中のエネルギーを、しっかりと感じていくこの瞑想を、私は続けていきます。

ああ、この瞑想こそ、私を感じる本当に唯一の手段なんです。

私は、瞑想の時間をとても、とても大切にしています。瞑想をすることがとても喜びです。

ありがとうございます。田池留吉、あなたと出会えて本当によかった。

アルバートの意識、アルバートの世界を、私の中で本当に喜び、喜びで広げていきます。ありがとうございます。

最後は瞑想。瞑想でしか分からないことは明々白々です。

瞑想をする時間を持つ、ゆったりと静かに十分に瞑想ができる時間と空間を自分に用意する、このことが自分にとってどんなに愛なのか、優しさなのか、これもまた自分の体験でしか分からないことです。

要するに、すべては自分です。

自分が何を思い、どの方向に心の針を合わせ向けているか、あるいは向けようとしているか、それはみんな自分が実際に自分の心で体験して学んでいくことです。

瞑想を重ねていけば、磁場はエネルギー、喜びのエネルギーであり、それが自分自身なんだということを実感していきます。

自分の中にもともとあった喜びのエネルギー、温もりのエネルギーだったということが本当に実感してきます。

それこそが喜びです。そういう心の体験を重ねていくことこそが、本当の喜びであり、次元移行へ向かって突き進んでいく原動力となってきます。

私は、そんな学び方を自分の中でしています。自分の中で学ん

でいける喜び、幸せ、それは瞑想を通してなされていくことなんです。

思いを向けていけばいくほど、そして、自分の心の中で学んでいけばいくほど、自分の中がしっかりしていきます。

まさに独立独歩の道です。楽しい道です。

自分の中で、田池留吉の磁場を思い、反転を繰り返します。私の心は感じます。心の中から噴き上がってくる喜びと温もりを感じます。

ああ、これだ、これだと実感します。実感するから、なおいっそう心に向けていきます。心を合わせていきます。

そこには欲の思いなどありません。ただ喜びがあるだけです。

本当に嬉しいです。心の中にすべてがあったことを感じます。田池留吉、アルバートを感じられることが嬉しいんです。

こういう瞑想は、そんな時間を要しません。一瞬のうちに感じ、そしてそのまましばらく嬉しい、ありがとうございますが続きます。

もちろん、長く瞑想をするときもあります。とにかく、瞑想を抜きにしては何も分からないということです。

そんな瞑想を重ねていったとき、ああ、学びたいと私としては真面目に思ってきたことも、すべては欲だったということが分かってきました。

そんなことが自分の中で感じられたとき、私の心はずっと軽くなりました。本当に嬉しくなりました。すべてはもう私の中に用意されていたんだ、そんな自分だったと感じてきたからです。

私にとって、瞑想をする時間は、自分が今まで学ばせていただ  
いてきたことを確認する時間です。

自分が心で感じていることを、さらに深く強くその信を確立し  
ていく時間です。

だから、瞑想をするということ自体が喜びです。

瞑想ができるということが喜びです。

心の中に響き伝わってくる温かい思い、優しさ、喜び、幸せ、  
それらは総じてただこの道をひたすら真っ直ぐにというメッセー  
ジを送ってくれます。

その中で、田池留吉とか、アルバートとか、異語とともに自然  
に出てきます。ともにある感覚を心に感じ、私は日々自分の生活  
の中で、そういう時間と空間を持たせていただいていることに感  
謝です。

本当に何も要らない、何も必要としないことを感じます。

この中にあった自分であったことを何度も、何度も繰り返し感  
じさせていただいています。

それが田池留吉の磁場、そして反転と発信する私の瞑想です。

反転と発信する、発信できる、それは喜びのエネルギーを宇宙  
に向けていける喜び、私はそのように感じています。そんな瞑想  
をしています。

淡々と瞑想を重ねる。そして喜びで瞑想を重ねる。

もうそれ以外にはないでしょう。次元移行へ向けて粛々と流れている意識の流れの中で、肉を持っている今、何をすべきかということになれば、自ずと答えは出てきます。

その中で、肉はそれなりの規律の中で生活をして、それなりに楽しんでいけばいいだけです。苦しんだり、嘆いたりというのは、全く違ってきます。

肉は、それなりに楽しい時間を適度に通過していっているならば、何も言うこともないと思います。

それよりも、一番大切なのは、なぜ生まれてきたのかということ、本当に心で知ることです。

なぜ生まれてきたのか、本当に生まれてきてよかったと分かっているなければ、死を自分の中で受け止めていくことはできないです。

私は、エネルギーの世界、つまり自分自身を、今世の肉の時間にもう少し学んで帰る計画をしています。

田池留吉の磁場、反転、そして転写、そういう学びを通して、しっかりと確認させていただき、ますます宇宙に向けて真のエネルギーを流していく、それが、これからの250年、300年に向けての私自身の計画です。

田池留吉の磁場、反転、そしてその先にあるのは宇宙、次元移行、そこへ心の針が向いていきます。

瞑想はその繰り返しです。田池留吉の磁場、反転、宇宙、次元移行、私の中にあるものは、次元移行。

次元移行を伝えにきてくれた田池留吉の、アルバートの意識。  
その意識に心に向け合わせ、ともに遂行していく喜び。

それが私の田池留吉の磁場、反転の瞑想。

宇宙に反転と呼びかける。宇宙に反転のメッセージを伝え続ける。

それがどんなに喜びで嬉しくて幸せなことなのか、私は瞑想を通して感じています。

たとえば、私個人として、身体の不調な部分があって、そこに意識を向けて、田池留吉の磁場、反転、肉体細胞ありがとうの思いを向けていても、その思いはそこに留まっていないことを感じます。

肉体細胞ありがとうの思いは、宇宙よありがとうに続いていきます。ただただありがとうの思いだけが広がっていくんです。

意識の世界はそういうものだと思います。肉体細胞だけを思うことなどできないし、肉体細胞を思えば、そこからどんどん心が広がっていく、意識の世界が広がっていく、そういうことだと私自身は実感しています。

形を見れば、そしてその人自身は、確かに学びをやっていこうとしていると思います。しかし、その思いとは別にやはり、他力の思いは根深いということ、一つの事例を通して、学ばせていただきました。

\*\*\*\*さん、あなたは田池留吉を信じていますか。

はい、私の中に、田池留吉があるのかないかよく分かりません。私は、田池留吉の肉を見えています。私の基盤は肉です。

はい、私の身体に、私の肉体細胞に思いを向けるとき、私は肉が基盤です。心の中に田池留吉の磁場、反転と呼びかけても私の基盤は肉。肉の田池留吉が反転と言うから、私は反転と言います。

私自身が反転と喜びで向けているわけではありません。\*\*\*の肉体細胞に思いを向けるとき、冷たい思いを感じます。

はい、それが私なんです。\*\*\*\*という肉体を持った意識、その意識のほうに心を向けることなく、私は\*\*\*\*という肉体を思っています。

\*\*\*\*というこの肉の時間を思っています。

私はこの身体、はい元気になりたい。普通の身体になってほしい。そして、そうなったとき、私は、田池留吉の磁場と肉体細胞に心からありがとうと言えらると思うんです。

それではダメなんですか。

田池留吉です。あなたの学びは本末転倒です。肉を基盤とする人、それはあなたに限りませんが、その人達の学びは本末転倒です。

たとえば、身体を治して、元気な身体になって、そうしてから、瞑想をして田池留吉の磁場を思い、肉体細胞よありがとう、そして次元移行へといくかどうか、まず、自分の中でやってみてください。

今やらずに、できずにでは、たとえ身体が元気になったとしても、それは難しいです。それができると思っているならば、田池

留吉、そしてこの学びをあなたは軽くあしらっています。

信じていません。意識が自分だとは信じていません。

あなた自身が語ったように、肉が基盤です。

そんなあなたに対して、私はそれでも、精一杯お伝えしています。

なぜだかわかりますか。私はあなたの肉を見ていないからです。

あなたの意識を信じているからです。

意識を信じる私。肉を信じているあなた。その私の思いとあなたの思いとは合いません。それは一つにはなれません。

それをあなた自身が、どこかで気付いていただけたならと思います。

難しいです。形は同じ。言っていることも同じ。やっていることも同じ。しかし、基盤が違っては全く違うということ、それぞれがどこかで自分の心で気付いていかなければなりません。頭ではありません。心で気付くんです。それが難しいということでしょう。

あなたの喉に意識を向けて、田池留吉の磁場、反転、そして宇宙を、次元移行を思いましよう。

私は、肉体細胞の意識です。ありがとうございます。ありがとうございます。ここに意識を向けて、あなたの心をしっかりと、田池留吉の磁場に合わせてください。心よりそのようにしてください。私達肉体細胞は応えます。肉体細胞は喜びです。あなたの肉体細胞の喜びを心に感じ、瞑想を続けていってください。

田池留吉の磁場、反転です。

田池留吉の磁場、反転、宇宙、そして次元移行、あなたの思いをそちらのほうに向けていく、それは喜びです。

心からの喜びをお伝えします。この波動、エネルギーを感じていってください。田池留吉の心を心として生きていくあなた、そのあなたの心の中からエネルギーが流れていきます。

宇宙へ、宇宙へエネルギーが流れていきます。喜びのエネルギーが流れていきます。

250年、300年、私達喜びのエネルギーが流れていきます。

嬉しいです。ありがとうございます。田池留吉の磁場、あなたの中で、もっと強く大きく深くなっていくでしょう。

田池留吉の磁場、反転、私達は喜びのエネルギーです。

喜びは喜びを生んでいきます。喜びは喜びをさらに大きくしていきます。

喜びの宇宙へ、喜びの世界へ、次元移行へ、思いを向けていきましょう。

肉を持っているとき、持っていないとき、肉体細胞があるとき、ないとき、それはあなたの中で何ら変わることはありません。

一つ、一つ、一つの世界が広がっていきます。

ありがとう、ありがとう。このエネルギー、この波動を感じていってください。

意識の転回。

田池留吉の磁場、そして反転の瞑想を続けていると、必然的にそこに至ります。

意識の転回なくして、本当の世界は永遠に分かりません。

意識の転回を自分の中で起こすために、これからの時間、300年を用意している、それが三次元に肉、形を持つ意識の計画。

そして、その意識の転回を呼び起こすエネルギーは、今、着々と整えられています。天変地異というエネルギーの中で、どのように意識を転回していくか、それはそれぞれの意識の世界の中のこと。

「私達は意識、エネルギー、一つ」

用意された300年の間に、私達と一つになって次元移行への道を歩んでいかれることを望みます。

今世の私達は、田池留吉の肉という明確な道しるべをいただきました。本当にありがとうございました。

おかげで私は、ようやく、今世、本来の自分のあるべき姿、進むべき道を自分の中で知り得ました。

そして、もう少し、その明確な道しるべのもと、学ばせていただく喜びの中にあります。

喜んで、喜んで、ともに学ばせていただきます。

次元移行へ至る時間、そしてその後をしっかりと視野に入れ、射程距離に置き、私は、私とともに生きていきます。

田池留吉の磁場、反転、転写と瞑想を続ける私の中で、さらに中心棒が強くなっていることを確認しています。

無限である自分自身なのに、有限の中にある自分にしか思いを向けられないことがどういうことなのか、私達人間がとつくりと知っていくこれからの時間なんだ、そんなことが私の中に明確に伝わってきます。

思う、感じる、信じる。思う、感じる、信じる。

この学びの態勢が自分の中でできているか、否か。

これはとても大切なことだと思います。いいえ、これしかないと思います。

この態勢、つまりは自己確立がなければ、結局は、心は外に向いていきます。それは、田池留吉の肉がなくなったあと、顕著です。

今もそうですが、形の世界はどんどん崩れていきます。

いったい何を信じていけばいいのか、何も信じられないという思いが、もっと世の中に満ち満ちてくる情勢になってきます。

有限の中に留まる意識の行く先は哀れです。

しかし、そこから自分を解き放していくことは、余程、自分の中でしっかりとした態勢が整っていない限り、難しいです。

濁流の中を見事泳ぎ切るには、泳ぎ切るだけの力量が必要です。

それを、今世、自分の中に確立しなさいと、田池留吉の肉は私達に伝えてくれました。

私はそのように感じています。

私は、瞑想をすれば、田池留吉、アルバートと出会えます。

田池留吉、アルバートの波動と語っています。

この確信こそが、自分を救う唯一のものだと、この頃特に感じ

ている私です。

田池留吉が私達に伝えてくれたことは、決して難しいことではありません。本当に単純明快なことでした。とてもシンプルでした。そして、そこには本当の優しさ、温もりがありました。

素直になれずに、いいえ、素直とはどういうことかすらも分からなくなってしまった私達でした。

私は、学びの年月を振り返り、つくづくそのように思います。

学びの年月の長い人達こそ、田池留吉の磁場、そして反転の瞑想を真剣にやってみませんか。

それなりの効果は、間違いなくあります。

そうして、今世の自分の時間を終えていただきたいと思います。

私は自分に結果を出しました。自分の立てた計画通りに進んでいます。

だから次元移行は私の中では、夢物語ではありません。現実なんです。

チャネラーであるとか、ないとか、そんなちっぽけなところで留まることはもうやめにしませんか。

私達は大いなる意識、エネルギーです。

母からいただいたこの肉体を私は、今世こそ本当の意味で、最大限に活用していこうとずっと思ってきました。250年後の肉体も、もちろんそうです。肉体細胞は間違いなく、限らない協力を惜しみません。

私は、この肉体細胞の思いとともに、今世、それから250年

後、しっかりと自分の仕事をしてまいります。

その間の時間は言うまでもありません。

田池留吉の磁場、そして反転をふっと思えば、このような思いが出てきました。

濁流の中を見事泳ぎ切る力量。

「誰も何も自分を救ってはくれない。

こうすれば、こうなれば、これを信じていけば、必ず幸せ、喜び、本当の優しさ、温もり、愛が分かる。

そんなまやかしの言葉に、どれだけ翻弄されてきたことか。

しかし、それはすべてが自分のエゴと欲と無知が招いたことでした。」

私は、今世、この学びに触れ、本当に学んできました。

それが私の計画だったと言えればそれまでですが、こうすれば、こうなれば、これを信じていけば、必ず幸せ、喜び、本当の優しさ、温もり、愛が分かるという言葉にウソ偽りはありませんでした。ということが、私は、自分の学びを進めてきて、自分の心で証明できました。

だから、とても嬉しいのです。

どうすればいいのか、何を信じていけばいいのか、単純明快に私の心に届きました。

すべては自分の中にあっただけです。濁流の中を見事に泳ぎ切る力量は、私の中に真のパワーとして温存されていました。

私は、その私に出会っただけのことでした。

こんな単純明快な世界はありませんでした。

私は、自分の中に確信があります。私が田池留吉の磁場、反転、転写という思いを発信すれば、すごいエネルギーを宇宙に流していけるんです。

だから、瞑想は楽しいです。瞑想は喜びです。瞑想がすべてです。

自分を前へ前へ推し進めていく原動力、それを瞑想で確認しています。

自分を前へ前へ推し進めていく喜び、瞑想をすればするほど、その喜びが心に大きく広がっていきます。

だからなおいっそう、瞑想が大切だと感じるし、瞑想をすることが喜びとなってきます。

私の中は、とてもいい循環で推移しています。

もちろん、肉は闇です。闇のエネルギー満載です。しかし、そのエネルギーは、田池留吉の磁場の中で、私が反転とすれば、私に返ってくるものは喜びなんです。

その作業が私には嬉しくて、楽しくて、心が病んでいる暇などないし、体調が少し不調でも、思いを向ける、思いを馳せる喜びは何ら変わるところはありません。

自分でも不思議です。

田池留吉の磁場、反転、転写、肉体細胞ありがとう、私の中から自然に出てきます。

何て幸せなんだろうかと思います。

私はずっとともにありました。田池留吉、アルバートという本

当の自分とずっと一緒にありました。

呼べば、思えば、応える。本当にありがとうしかありません。

私の大好きな宇宙を呼べる。私の瞑想はさらに変わったように  
思います。

宇宙をどんどん思う、宇宙にどんどん心を向ける。

もうこうなれば、私の世界です。私が私の中をどんどん反転し  
ていく喜びです。

この喜びは、もちろん、250年、300年、そして次元移行  
後もずっと続いていきます。

私は、今世の肉体を通して、その確かな切符を手にししました。

こんな嬉しいことはありません。

形の世界には、想定外のことはザラにあります。どんなに手を  
尽くし準備万端整えようとも、形の世界は崩れていくときは、一  
瞬のうちに崩れていきます。

想定外の出来事が、人の心を大きく、右に左に揺らし、そして  
怒涛の如くにすべてを闇の中に飲み込んでいきます。

と思うのが、有限の中に生きる人達です。

本当は、そんなものなど存在しません。本当は、ただただ喜び  
だけの世界です。

有限の中に生きていては、すべては喜びの世界だけなのに、そ  
れを感じられないだけのことです。

そして、それを感じていくには、意識を転回する以外には手が  
ありません。それを、これからの250年、300年かけてやっ

ていこうとするのが意識の流れ。だから本当にありがたいです。

私はしみじみそう思います。

意識の流れに出会って、意識の流れを感じて、意識の流れとともに存在していることが分かってと、瞑想をすれば、そんなことが心に響いてきて、たまらなく嬉しいです。

ちっぽけな肉などどうでもいいです。どうでもいいけれど、私は肉でもまた満たされています。それはひとえに意識の私を感じているからです。

こちらが本物。そして本物が本物を感じていけばいくほど、偽物の私も嬉しくなってくるという流れなのでしょう。

地獄の奥底で苦しむのは、それぞれの自由です。

私はもうごめんです。自分を大切に、自分を愛しく、本当に自分に愛を流す喜びを知りました。

こんな幸せはありません。

世界人類の幸せのために、そんな大言壮語の思いはありません。

自分ひとりを幸せにできなくて、誰にも真実は伝えられません。

宗教は善ではありません。神も仏も存在しません。

本当に喜びの世界を知ったならば、本当の温もりを知ったならば、本当の自分を知ったならば、そんなことは絶対に言えないのです。

瞑想、正しい瞑想を積み重ねていけば、これらのことは自ずと自分の心で分かってくることです。

地獄の奥底から蘇った意識には、偽りの波動は通用しません。

波動だけが真実を物語ることを、私は田池留吉という人物に出会って知りました。

心の針を向ける、そしてその心の針が限りなく正しい方向に近づいていく、そんな学び方を私は自分の中で続けています。

結局はすべて自分が行うことです。その作業を淡々と進めていくことだけが、自分を大切に、自分を愛しく、本当に自分に愛を流す喜びになっていくのだと知りました。

私は、ただ前を向いて、一直線に突き進むだけです。前人未到の世界を自分の中に広げていく喜びです。

こんなことを言っても、有限の世界、形の世界が本物だと思っている人達には、全く相手にはされません。

だから、私は、この濁流に身を置いている間は、ただ黙々と、そして淡々と自分の進むべき道を歩き続けるだけです。

肉がなければ、濁流の煩わしさはありません。時として、濁流に合わす必要もありません。自分の世界で、自分のやるべきことをただひたすらしていく、つまりは、心に向け心を合わせていくことだけに集中できるのです。

そういう意味で、肉がないときのほうが、私にとって仕事しやすいでしょう。

そして、私は、250年後に最後の肉をいただき、自分の中で熟成させたエネルギーを、全宇宙に向けて発信していきます。

たび重なる天変地異のエネルギーの中に翻弄されてきた意識に、私は、ただ真っ直ぐに伝えていくのです。

その予習を、今世の時間いただいています。

肉を持ちながら、宇宙に思いを向ける瞑想を続けていき、やがて、この肉を終えても、私は真のエネルギーを流し続けていける存在であると感じています。

田池留吉の磁場も、反転も、そして転写も私の中では、もうごく普通のことになりました。ありがたいです。

田池留吉の磁場、そして反転と思えば、肉で少し針がズレ揺れても、そんなものは一瞬にして元の状態に戻すことができる、そして、また一歩喜びに向かって歩いていける、私の状態はそういうところですよ。

自ずと心の針を向けられる、合わせられる、ぶれない、それは、ただひたすら瞑想を通して、私の中で確立したものになっています。

これはすごいと思います。

心の針を向けられる、合わせられる、ぶれない、その実感は私の中で、さらに前へ自分を推し進めていく大きな原動力です。

ああ、250年、300年の自分自身を思うとき、今、このように自分の中で学びを進めていけることが、本当にありがたいですよ。

田池留吉の磁場、反転、転写、みんなエネルギーです。みんな喜びのエネルギーです。

だから、田池留吉の磁場とエネルギーを発信する、反転とエネルギーを発信する、転写とエネルギーを発信する、そのこと自体

がただただ喜びなんです。発信できることが喜びなんです。

そして、田池留吉を思う。宇宙を思う。次元移行を思う。それらは一つになって、私の中に響いてくる。そんな瞑想を繰り返ししています。あとの時間、肉は適当に楽しんでます。くつろいでいます。

肉を通し感じるマイナスの情報は、磁場、反転、転写の作業をすることにより、プラスに変わっていく、変えていけることを実践しているから、こんな楽しい人生はありません。

物質的にも満たされ、なおかつ、形はないけれど、十分に満たされている世界も感じられる、幸せの一語に尽きます。

頭の後頭部に意識を向ける。

後頭部に意識を向けた時、私の心は本当に晴れやかに広がっていきます。ああ、心の中に何も無い。はい、飛び跳ねるような嬉しさ、喜びの中に広がっていくんです。

これはいったいどういうことでしょうか。

人間は頭を誇ってきました。頭で考えられること、頭を駆使していくこと、それは、人間が生きる上でとても大切なことだと思ってきたんです。

しかし、その頭を外したとき、心の中、意識の世界がどんどん広がっていく体験を、あなたはされたんです。

そうです。人間が頭で考えることなど、本当にちっぽけなもの

なんです。

それよりも、もっと、もっと心を広げて意識の世界を、もっと、もっと感じていく、その喜びを体験されたんです。

喜びです。喜びです。喜びがどんどん広がっていく。

その頭、その肉を外したとき、あなたの心の世界がどんどん広がっていく。そのことを体験されたんです。

後頭部に意識を向けた時、あなたの心はパーンと弾けました。

どこまでも、どこまでも広がっていく、そう、宇宙ですね。そう、意識の世界にあるあなた自身を感じたんですよ。

はい、そこには何もありません。ただただ喜びが広がっていくんです。温もりが広がっていくんです。

ありがたい世界です。お母さん、ありがたい世界が広がっていくことを体験されました。

心の中の喜びを、もっと、もっと信じていってください。

広がる喜びを、もっと、もっと信じていってください。

肉を離したあとの喜びの世界を信じていくんです。

頭で理解する世界は、ほんのちっぽけな世界だと、あなたの心の中に、しっかりとメッセージを送りました。

頭では決して理解できない世界、それがあなたの世界、意識の世界。

田池留吉の磁場、田池留吉の世界です。

はい、心をどんどん向けることをやっていってください。

私の身体の弱い部分、気管支を思う。そこに意識を向ける。

思いを詰め込み、飲み込み、口を閉ざしてきたエネルギー。  
そして、それは、まさに喉をかき切るほどの凄まじいエネルギー。  
ああ、たくさんの闇のエネルギーを垂れ流してきたことを感じ  
ます。

それでも、今、自分の中から反転の思いが響いてきます。  
一瞬のうちに変わる。凄まじいエネルギーは、温もりに触れ、  
優しさに触れ、苦しみがきながらも、その温もりに、優しさに  
包まれていることを知る。

知れば、もはや苦しみはどこにもない。ただただありがとう、  
そして喜びが広がっていくだけ。

凄まじいエネルギーも私ならば、この温もりと優しさも私です。  
いいえ、凄まじいエネルギーが、温もりと優しさを蘇らせてく  
れる。本来の私を蘇らせてくれる。喜びのエネルギーをそこへ転  
写し、やがて凄まじいエネルギーは、自らどどん元あった状態  
に戻っていける、つまり転写が転写でなくなっていくような、そ  
んな感じがします。

眉間に意識を向けて感じる世界と、後頭部に意識を向けて感じ  
る世界には、雲泥の差があります。

眉間に意識を向けて感じる世界は、私が培ってきた世界。  
自分の本質を知らずに、欲の渦の中で創り上げてきた世界。  
そんな中で、どんなに反転と伝えても、そして喜びに帰ろうと  
伝えても、所詮その思いは届かない。凄まじいエネルギーにかき  
消されてしまいます。

しかし、後頭部に意識を向けた時、私の中に一瞬にして広がっていく世界は、本当にどこまでも限りなく広い世界。何もない世界です。

そして、そこから、自分を見る。瞬間的に、凄まじいエネルギーは反転します。あまりにもちっぽけな世界だった、それを実感します。

それから、温もりが押し寄せてきます。ありがとうございますが充満します。ただただ気持ちがいいです。

そして、一度、その瞑想を終えて、再び、田池留吉の磁場を思う瞑想を始めました。

田池留吉の磁場と思った瞬間です。広がり、パワー、温かさ、優しさ、喜び、すごいと思いました。

やはり、最後は瞑想なんだ、瞑想だけなんだと思えば、そうですよ、それしかありませんと伝わってきます。心に向けていけば、もうどんどん学んでいけますとも伝わってきました。

田池留吉の磁場を思い瞑想。反転を思い瞑想。転写を思い瞑想。思うだけでいい。思えば心に響きます。思った瞬間心に響きます。それほどすごいエネルギーなんだと実感です。

反転も一瞬ならば、転写も一瞬。その一瞬で仕事をしているんだと分かれば、すごいとしか表現できません。

そして、そんな中にずっと存在していたことを思えば、なおさら喜びが噴き出てきます。

ああ、本当に言葉も何も要らない世界。思えば、一瞬にして通

じる世界。そして、田池留吉の磁場も、反転も、転写も、発信できる喜びだけを伝えてくれます。

そうです。発信できる喜び。この喜びのエネルギーをどんどん宇宙に流していただいでいいんです。

瞑想で、一瞬、田池留吉の磁場、反転、転写、これだけをやり続けていくこと、それが私の喜びなんだと感じます。

そして、このことは、肉の有無に関係がないことを、私は、今、自分の中で実践しています。

まず、水の実験から始めましょう。

目で見て自分で体験して、不思議だとかすごいとかの感想を持ち、そこから入れば、長年学んできたことも、ようやくそうだなあとやっていけるのではないのでしょうか。

そして、あとはそれぞれが自分の肉体時間のある限り、一生懸命自分を学んでいく時間とすれば、本当に今世、自分に用意した肉体と環境、時間にただありがたいだけの思いしかないことを実感されると思います。

素直になって、ホームページに掲載されたことを、自ら積極的にやってみる、この姿勢は本当に大切だと思います。

たとえば、水の反転、転写から自分の中の反転、転写にどんどん進んでいく学びを、ご一緒にやってみませんか。

私は、田池留吉の指し示す方向にきちんと自分の針を向けて、自分の歩むべき道を淡々と、喜びで進んでいます。

思えば通じる世界、波動の世界、田池留吉の磁場、田池留吉の

世界を、私は自分の中でしっかりと、そして正確に感じています。

そのために、私は、今世こうして肉を持ってきたのだから、それが自分の中で達成しない限り、私の今世の転生は失敗ということになります。

失敗ということになれば、おそらく、意識の流れの遂行に大きな支障をきたすことでしょう。

しかし、そういうことは、万が一にもあり得ないことだから、こうして私自身の結果を出した今現在ということなのです。

だから、どうぞ、ともに次元移行に向かって流れていくこの意識の流れに素直に乗ってください。

私達は、いずれ何らかの形で、肉を捨てていきます。死んでいきます。

肉、形が私達の本当の姿ではないのだから、それは当たり前のことです。ただし、肉を捨てたから、肉とともに、思いが離れるわけではありません。

そこから苦しみを実感していくんです。

肉をまとっている間は、その苦しみも一時和らいでいるだけです。

形を本物とする思考回路では、死んだら終わりです。そして、私達は、その思考回路で、死を恐れ、死を悲しむことを繰り返してきました。

私達は、今、田池留吉のもとで、田池留吉の磁場、その中にある自分達であったことを学んでいます。

まさに無限の世界の喜びを、今、心で感じていける絶好のチャンスに恵まれています。

それでは、お尋ねします。

あなたが、心に向け合わせていったときに、あなたの心に響いてくる世界が田池留吉の世界だと、あなたは、今、どれだけ信じていますか。

あなたが、心に向け合わせていったときに、あなたの心に、広がり、温もり、喜び、パワーを感じ、ああ、このままどんどん心に向け合わせていけばいいんだという、あなたのすべてを委ねていける安らぎをどの程度、感じていますか。

それらは、もちろん、100%、「はい」と明確に心で言えるまでになる必要があります。

絶大なる信。その信を自分の中に育むには、今の肉の時間では、どうでしょうか。とても充分とは言えないかもしれません。

以上のことを、しっかりと踏まえながら、ご自分を学んでいきましょう。

今の私に何かメッセージをください。

はい、ともに学んでいくあなたです。今、私に心に向け、田池留吉の磁場、反転、転写としたとき、一瞬に働くエネルギーをあなたの心で感じていきなさい。

その喜び、その素晴らしいエネルギー、すごいエネルギー、喜びのエネルギー。そのエネルギーこそあなた自身。

その瞑想をあなたの中でどんどんどんどんやっていくことを、私はメッセージとして送ります。

あなたは、もうすでにあなたの中で、どんどんどんどん学んでいけるんです。

私をふっと思えば、あなたの中に、田池留吉の磁場、反転、転写、その世界が一瞬のうちに、喜びのエネルギーがあなたの中に、湧き起こってきます。

そのエネルギーをどんどんどんどん心で感じていってください。そんな瞑想をどんどんどんどん自分の中でやっていくんです。一瞬です。一瞬に心に向ける。その学びをしていってください。

私は、こうして、これから先もずっと、田池留吉の世界に聞いていくでしょう。それは、もちろん、田池留吉の肉の有無に関係がありません。

聞けば答えてくれる。ポイントを外さずに的確に答えてくれる。私はその確信を深めてきました。

私は、これまで、波動で受け、それを言葉に変換して、私の勉強に役立ててきたけれども、今、田池留吉の磁場の瞑想を重ねてきて、田池留吉の肉がなくても、私の勉強が、全く滞りなく進んでいけるように、本格的に自分の中を整えていく時期にきたことを感じています。

肉を持っている間に、肉を離れた後の自分、つまり意識の自分をしっかりと心で感じ、その自分と対話する大切さ、喜び、そう

いう学びを確立することを心に入れ、私は、私の勉強を進めてきました。

すべては自分の世界の出来事です。

そこには何も無い。あるのは、自分だけ。その自分が喜びであるか温もりを本当に広げているか、そしてそんな自分の中を、どんどん進んでいっているかどうか、ただそれだけなんだと、瞑想を重ねて行って、本当にそう感じます。

今、心の針を合わせ正しい瞑想ができることが、本当に自分にとっての最大の愛なんだと実感します。

田池留吉の磁場も、反転も、転写も、一瞬にして心に広がるエネルギーの世界。喜びのエネルギーです。喜びのエネルギーは喜びの仕事をします。肉体細胞にも、そしてもちろん宇宙、限りなく広がっていく意識の世界に反転、転写、そして次元移行へというメッセージを流していくことは間違いないことです。

それらは、みんな自分の心で感じていく世界です。それを実現可能にするには、瞑想です。瞑想、正しい瞑想。それしかありません。

これまで積み重ねてきた学びが、田池留吉の磁場、反転、転写の瞑想で、大いにその効果を発揮していることを感じています。

嬉しいです。

正しい瞑想ができるようになるために、これまでの学びの年月があったんだと思います。

今は、一瞬、田池留吉の磁場、反転、転写と思えば、もうそれ

だけでいい。ただただ嬉しいです。すごいエネルギー、すごいパワー、自分の中から出ていくのが分かります。

瞑想がやりづらいつ感じている人は、たとえば、反転させたお水を飲み、瞑想に入ってみてください。

ペットボトルにお水を入れて、田池留吉の磁場、反転として、それに意識を向けて瞑想をしていくのも効果的です。

とにかく、田池留吉の磁場、反転のエネルギーはすごいんですから、まず色々ご自分で試してみることです。

お水を飲むとか、ペットボトルを前にして瞑想をするとか、何もないよりも、そういう形を経ていけば、案外いい結果が出てくる場合もあると思います。そうすることで、自分なりに瞑想の要領がつかめればいいのではないのでしょうか。

心に何も響いてこないなんてつまらないではないですか。嬉しいとか、ありがとうとか、ああ、体中に元気が漲みなぎってくるとか、何でもいいんです。

また瞑想をしよう、もっと瞑想をしようと、何か前向きな気持ちになれば、それだけでも幸せだと思いますか。

もちろん、私は瞑想をすれば、心に感じる場所は多大です。だから、今日は忙しいからとか、疲れているからとかで瞑想をしないなんてことはありません。

瞑想は私にとって本当に喜びの時間です。こんな私に変わらせていただいたことがただただ嬉しいです。

この世に生を受けて、このように楽しい人生を歩ませていただ

きながら、しっかり自分を見つめ、自分を学ぶ時間を用意している、これほどの幸せはありません。

楽しい人生というのは、私の中にはっきりとした喜びの道筋が見え、その道を淡々と着実に歩んでいる自分を確認できているからです。

それを抜きにしては、人生が楽しいなどとは思えません。

自分の中にしっかりとした中心棒があるからこそ、何をしても、たとえばテレビを見たり、音楽を聴きながら街中をブラブラしたり、時には、ショッピングをしたり、そういうたわいもないことで、結構楽しみの時間を過ごさせていただいています。

しっかりとした中心棒が自分の中に育たない中で、そんなことをしても、ただ空しさが広がっていくことは、私は百も承知しています。

今は、私は、本当に幸せです。瞑想をして心に広がり心に感じる世界があります。それは確信です。幸せは確信です。喜びは確信です。

田池留吉の磁場と反転、転写という瞑想は、そういう点において、すごいです。ずっと積み重ねてきた学びが、この瞑想を重ねることによって、私には相乗効果がある、それほどすごいものだと感じています。

私の中は、田池留吉の磁場、反転、転写の三拍子で今どんどん進んでいます。私の場合、瞑想は、田池留吉の磁場、反転、転写です。もうそれが自然となっています。磁場、反転、転写と言葉

は三つだけれど、私の中では、それらはもうすでに一体化しているんです。だから田池留吉の磁場と思えば、反転、転写なんです。

そこで、反転は分かるけれど、転写は今ひとつよく分からないという人もおられると思います。

そんなことどうぞ、気になさらずに、どんどん田池留吉の磁場、反転としてより良いお水を作り飲み、そして田池留吉の磁場、反転の思いを向けながら瞑想を続けてください。

また、ご家族の中に、学んでおられない人がいても、あなたがより良いお水を作ってあげればいいんです。

あなたのありがたいの思いが、そのお水に転写されて、学んでおられないご家族の人も、いつの日にか、心のどこかにありがたいが芽生えてくるでしょう。

波動の世界とはそういうものだと思います。

あなたが喜んでいれば、そのエネルギーは仕事をするんです。

喜びはすごいパワーだと、私は、今改めて感じています。その喜びのパワーが自分の中に漲みなぎっている、それが私自身だと、瞑想をすれば感じるんです。それが田池留吉の磁場が伝えてくれるメッセージです。

田池留吉の磁場、反転、転写、一体化して私の中に伝わるエネルギーを、さらに感じていきます。

目の前のお水を反転させて、より良いお水、つまりパワーのあるお水にすることは、もうたくさんの方が体験済みです。

それでは、目の前のお水ではなくて、遠くにあるお水にも、そ

れは可能かどうか。

家にはドアがあり、壁があります。

しかし、そういうものは一切関係なく、そのような遠くにあるお水に対しても、反転、転写というエネルギーを発信させてより良いお水に変えていけるかどうか、あなたはどう思いますか。

私の心が出した回答は、目の前のお水であっても、どんなに遠くに離れたお水であっても、同様のことができるということでした。そのことについて、田池留吉の世界に聞いてみました。

早速、試してみてください。まずは、あなたの心の中で田池留吉の磁場、そして反転、転写と、壁を隔てたどこか違う部屋に置いたお水に向けてください。

そのお水がより良いお水になるかどうか、それを早速試してみてください。

私はあなたにはすでに答えています。あなたにはそれができません。

それを早速試してみてください。

あなたの目で確かめ、体験して、そのお水を飲んで肉体細胞に染み込んでいく感覚を試してください。

目の前に置いたお水を反転、転写とするときと全く同じです。

エネルギーは、どこまでも一瞬に届いていくんです。

あなたの意識の世界は、もうすでにそんなことは心に感じています。

それを形の世界で、目で見えて確かめる、体験する。そういう実

験をしていってください。

そうしていったとき、またその体験が、あなたの瞑想の中でさらに役立っていくでしょう。あなたの意識の世界では、エネルギーは一瞬のうちに働くということは、もうすでに確認済みです。

田池留吉の磁場、そのエネルギー、あなたの中でどんどんどんどん感じていくこと、感じていけばいくほど、さらに、エネルギーの質が高まっていくこと、それを私はあなたに伝えます。

田池先生、ありがとうと発信できる喜びを、伝えてくださってありがとう。

「ありがとうという思いを発信できる。」

そう思って目を閉じれば、本当にたくさんのことを学ばせていただいたことが、心に響いてきてただただありがとうございます。

私は、元気、元気で、瞑想をする時間を自分に用意できています。私は、このことが自分にとって、本当に一番幸せなことだと思っています。

今世の私は、こんな恵まれた中で、ずっと学ばせていただきました。

もちろん、元気な私にも身体的に弱い部分があります。しかし、それもまたよしです。

それは、その部分に思いを向けていくと、必ず温もりと喜びを感じるからです。そういう部分と上手にお付き合いできることを学ばせていただきました。

お水を反転、転写させてその効果を体験するのと同じく、どこ

か身体の弱い部分があれば、そこに意識を向けて反転とする機会があるんです。これはありがたいです。これは分かりやすいです。反転のエネルギーを自分の身体で体験できます。自分の肉体細胞から、喜びと優しさが伝わってきます。

形を通して、自分に教えていくことを実感して、意識の自分は何てすごいんだろうと思います。

そう思ったら、心から出てくるのは、ありがたいの思いだけです。

早寝早起き、暴飲暴食はしない、適度な運動、快眠、快便、生活のリズムを一定に保つ、そして最大の健康のもと、正しい瞑想の励行。

みんな、トントントンツーツーのリズムの中で、私は幸せな時間を過ごしています。

250年後の肉はまだ目に見えない存在だけれど、意識の世界では、過去も未来も今と一つになって存在しているから、形はないけれど、250年後の意識はもうすでにあります。もちろん過去の意識もあります。

しかし、過去と未来の意識の違いは歴然としています。それは、今という時間を境にして、私の意識の世界は大きな変貌を遂げたからです。

過去も喜び、未来も喜び。特に来世の喜びは、これからの私の勉強を経て、さらに大きくなっていきます。だから、私は、250年後と思うだけで、ただただ嬉しいのです。

肉を持っている今、学べる幸せ、そして来世の肉を持つまでの

間、持つてからの学習、すべてが私にとって大きな喜びです。

田池留吉の磁場、反転、転写の瞑想は、私にこんな思いを伝えてくれます。本当にすごいと思います。ともにある喜び、ともに仕事をしていく喜び、ああ、本当にそんな喜びを伝えてくれます。

あなたの意識の世界は無限です。どこまでも限りなく広がっていくんです。そこには喜びしかありません。温もりに大きく包まれています。そのことをいつも、いつも感じながら、日々の生活をなさってください。私達はいつでも、どこでも、瞬時に出会えます。私に心に向け、いつも私を感じていてください。

私には、残念ながら自然豊かなふるさとはありません。

生まれ育ったところは、都会です。今もその都会のど真ん中で生活をしています。しかし、近くには大きな公園もあり、遙か向こうに山も見えます。

自然豊かとは程遠い環境だけど、私は私の中で十二分に癒されています。

私の中には限りなく広く、そして限りない優しさと温もりに包まれたふるさどが、ちゃんと存在しています。

だから、私は今、とても幸せなんです。

目の前に見える世界の中で、悪戦苦闘するだけの生活から卒業しました。

暗い中でどんなに楽しみや喜びを感じても、所詮は真っ暗です。

それよりも、そういう世界を知りながら、ただひたすら私は私の感じ信じるこの道を真っ直ぐに、どんどん真っ直ぐに突き進ん

でいくほうにエネルギーを向けています。

その大切さ、そしてそれが何よりも自分を幸せに、喜びに導いていくたった一つの手段だということを学んできました。

本当に嬉しいです。本当の喜び、本当の幸せ、本当の温もりは私の中にありました。

喜びで、田池留吉の磁場、そして反転、転写の瞑想を続けていくだけです。

私は、やはり、宇宙と思い反転。それが一番嬉しいです。

宇宙を思い反転。思いは瞬時に届く。意識の世界はそんな世界だと、宇宙を思い反転としたとき、それを実感します。

反転、あるいは転写と思えることがただただ嬉しい。

ところで、反転も転写もエネルギーです。だから、反転も、転写も一瞬思うだけで、作用します。お水を用いてそれを体感すればいいのではないのでしょうか。

あとは、それぞれが、そのことを活かし、目に見えない世界のことをそれぞれの心で学んでいくだけです。

お水の実験をして、反転、あるいは転写と思っただけで、あなたの指先に変化が現れたのは確かです。しかもそれは誰でもいつでもどこでもできることなんです。

それをどのように思うか。ただ不思議だと思っただけなのか。

不思議と言えば不思議。しかし、全く不思議なことではないのです。

それが意識の世界なんです。

だから、思うことはとても大切なことです。

思いを向ける。どこへ向ける。これが最も大切なことです。

心の針を向け、しっかりと合わすことができたならば、瞑想は喜びだけです。反転と思えば喜びが広がっていきます。そんな瞑想の時間をたくさん、たくさん持っていれば、労せずして幸せということでしょう。

宇宙を思い反転。宇宙を思い転写。私はこんな意識の世界に存在しているんだと感じます。それは、形の世界からは決して計り知れない世界です。

田池留吉氏が出席するU T A会は、確かに3年あります。しかし、3年なんてあっという間です。

今、私達は、これまで以上にはっきりと物申しています。

田池留吉の磁場と反転という言葉を出し、これまで以上にはっきりと伝えているんです。

これが最後のお勉強です。だから、これまでこの学びに触れた人であれば、可能な限り、この田池留吉の磁場、反転の勉強を経て、本当にご自分のこれからについて、着実な足がかりをつけていただきたいんです。

もちろん、自己責任を基本とした自己選択です。

田池留吉の磁場、そして反転ということに対して、どのように向き合っていくかはそれぞれの問題です。

ただ、私達は何の根拠もなく闇雲に、田池留吉の磁場、反転と言っているわけではないのです。

その根本にあるのは喜びです。母の温もりです。そうです。母の温もりの中でこそ、真実は語られていくのです。

混沌とした世の中です。混沌としてくるから、人は救いを求めます。真実を求めます。しかし、その思いで求めて得られるものは皆無です。

私達人間はエネルギーの世界、意識の世界をあまりにも侮ってきました。そういうことを、形の世界が崩れ去っていくことを通して、体験を重ねていくということです。

形を本物とする意識を反転していかない限り、つまり意識の転回がなければ、当然次元移行は果たせません。

1 + 2 = 3、真実の世界の原則です。例外は全く存在しません。

あなたも反転、反転の人生を歩んでみませんか。

楽しいですよ。こんなに楽しい時間を過ごせるのかと、心の底からの笑みが出てきます。

反転は、それほどすごいエネルギーです。パワーです。

本当のエネルギー、本当のパワーは自分の中にあったことが確信できる、私達とともに学んでいただけたならば、誰でもそのように感じられると思います。

せっかく、お母さんに産んでいただいて、こうしてセミナーとともに学ぶというチャンスをいただいたのです。

それぞれに心癖、素直になれない部分、多々あると思います。

しかし、この田池留吉の磁場、そして反転のお勉強を、ただ素直になってやっていかれたならば、私達が今、お伝えしようとする

るところが、手に取るようにご理解されると思います。

どうぞ、ありがとうと心から言える、心から思える人生、その時間をこれから死ぬまでの間に持ち続けましょう。

私は、ただひたすらこの道を通り直ぐです。それだけの確信が、絶対的な確信が私の中にあります。

私はだから幸せなんです。もちろん、形の世界でも幸せです。しかし、私が感じている世界は、そんな目の前の世界など比べることができないほどのものです。

どうぞ、田池留吉の磁場、反転、反転の人生、あなたもただ今から歩んでください。

そして、きっと、きっと、250年後に私達と呼応されることを切に望みます。

3月、5月のセミナーは、お水の実験を中心に進行されていくと思います。

セミナーに集った人で、ご希望の人は全員、お水を反転させて、そのパワーを確かめる、そういうことを体感してください。

誰でも、どこでも、いつでもできる。なぜなのか。

そういうことを自分の目で確かめて体感して、まずそこからやり始めてください。

また、もう一つ。

これも、12月のセミナーでし始めたことですが、身体の不都合な部分を反転させる。このお勉強も、形を通して非常に分かりやすいと思います。エネルギーが働く、喜びのエネルギーが仕事

をする。では、喜びのエネルギーとは何なのか。実験例と言っては失礼ですが、色々とお勉強させていただける事例を持って、セミナーに集ってきてください。

ただし、本も読んでいない。ホームページも見していない。反省も、瞑想もしていない。田池留吉の磁場なんて信じない。

こういう人はご遠慮ください。

ご自宅できちんと勉強して、またセミナー会場でともに学んでいきましょう。互いにとって、学びのレベルが上がっていけば、これに勝る喜びはありません。

「意識の流れは次元移行へ向かって滞りなく流れています。

だから、その流れにあなたも、そしてあなたも乗っていきましょう。

その乗る方法を、今のあなたを使って学んでいきましょう。」

要するに、これだけのことです。

意識の流れということも、次元移行ということも、みんな、みんなあなたの心で感じ、分かっていくことです。いいえ、それを感じ、分かっていくあなたになってください。

そのためには、どうすればいいのか。そのポイントを外さずに、日々の生活をしていけばいいし、そしてセミナー会場で学んでいけばいいのではないのでしょうか。

いつも自分の中に戻る。自分の心の針がどこを向いているか。そのチェックをしながら、そして日々の生活は楽しく、自分の進むべき方向をきちんと見定めて生きる、こんな幸せな人生は他に

ありません。

あなたも素直になって、田池留吉の磁場を思い瞑想をする時間を持ってみてはいかがでしょうか。

すべては喜びのエネルギーの中でなされていることだと、あなた自身の心に強く、深く、温かく響いてくるまで、瞑想を続けてください。

それしかありません。上記のメッセージは、あなたの心で証明するしかないのです。

私のすべきことは、もう瞑想しかありません。

すべては自分の中にあったことを知りました。今世の肉を通して知りました。喜びのエネルギー、真の温もり、真のパワー、田池留吉の磁場を思い瞑想をすれば、私の心の中に大きく広がっていきます。

アルバートと心から呼ぶ私の中には、次元移行への道筋がはっきりと感じられるのです。これほど確かなものはありません。

反転と心に向ければ、すごいエネルギーを感じます。

自分の中に反転のエネルギーを向ける喜びは、瞑想でしか味わえません。自ずと心は広がり、温もりが広がっていく、それが田池留吉の磁場、反転の瞑想です。そんな瞑想の時間を持つこと、持てること、それがただただ嬉しいです。

瞑想を終えて、ふと田池先生を思いました。最初にホームページを立ち上げてくださってから、現在まで、本当にホームページを通して、私はたくさん学ばせていただきました。

今回も、田池留吉の磁場と反転というコーナーを設けていただいて、私は私の勉強をさせていただいています。本当にありがとうございます。

20年ほど前に集わせていただいた頃は、何が何だかさっぱり分からなかった学びが、今では、自分の中で手に取るようにはっきりと分かります。そして、喜びが大きくなれば、それにふさわしい闇のエネルギーが感じられます。そのエネルギーに反転のエネルギーを向ける喜びを私は味わっています。

田池留吉の磁場、反転、そして転写、これらのエネルギーを自分の中から発信できる喜びです。

真の喜びを知った心から発信する反転のエネルギー、さらに大きくなるでしょう。真っ直ぐ決してぶれない歩み、私は私の心で感じて大満足しています。

田池留吉の磁場のエネルギーとか、反転のパワーとか、そういう言葉を出してくると、その言葉が独り歩きします。

また、お水を反転させてそのパワーを体感すれば、殆どの方は不思議を感じます。不思議だと思えるのはいいけれど、なぜそうなるのかというところにはあまり触れません。

それよりも、やはりそこに働くエネルギー、パワーに心が向きます。

向いていいんですよ。そういう実験をして、目に見えない世界、意識、エネルギーの世界をどんどん信じる方向にいけばいいんです。

しかし、それは、学びの基礎をしっかりと踏まえるということ  
を絶対的な条件としています。

それを前提にして、今のお勉強、つまり田池留吉の磁場、反転  
ということがあるんです。

学びの基礎は、母の温もりです。温もりを否定してきた他力の  
心の確認です。

それらをいい加減にしているのは、田池留吉の磁場も反転も本物  
とはなりません。

田池留吉の磁場を思う瞑想、自分の中を反転させる瞑想は、ゼ  
ロ歳の瞑想をしっかりと重ねたところでやっていたら大いに効果  
を發します。

「水を飲むたびに思えよ、意識の流れ。」

「水を飲むたびに思えよ、次元移行。」

瞑想をしていて、そんなフレーズが心に上がってきました。

そして、そう思ったら、お母さんとか、ふるさととか、その他  
単発的に色々な言葉が出てきて、何とも言えず嬉しいです。

ああ、意識の流れ。肉を持って学ぶ、学べる喜びと幸せはもち  
ろんです。

しかし、そうでない間、自分がどのようなものであるか、私は私の勉  
強を通して、さらに学んでいきたい。肉を持っている間に、可能  
な限り自分を学んでいって、田池留吉の磁場、反転と一瞬にして  
流す喜びのエネルギーの層を深くしていこうと、中から思いが響  
いてきます。

心の針を一瞬にして向ける、合わせる。その訓練を続けていきます。

思う、感じる、信じるの瞑想を繰り返し、私は自分に責任を果たしたい、今日の瞑想でそう強く感じました。

磁場、反転、転写、一体化してますます瞑想が有意義なものになっていきます。

自分の心で感じていく喜び、幸せ。

特に来世に思いを向けるだけで、今、ここに肉があって、こうして自分の中を学んでいけることがどれだけ幸せなのか、どれだけの喜びなのか、私は、ふっと思いを向けるだけで、自分の中にそういう思いが広がっていきます。

明るく、温かく、どこまでも限りなく広がっていく無限の世界だった、田池留吉の磁場、反転、そして転写と一体化する瞑想の中で、そのほんの一端を感じるだけでも、心に響いてくる喜びと幸せ。

「心でしか分からない」、本当にこれだけでした。

自分に責任を果たしていく、果たしていける自分であった、瞑想を重ねてその思いを強く深くできることが、自分にとって何よりの幸せであり喜びなんです。

すべては母の温もりでした。本当の温もり、本当の優しさ、そこに自分が触れたとき、自分の中が変わってくるんです。

反転も転写も、温もりと優しさが源です。そのエネルギーは温もりなんです。優しさなんです。もちろん、喜びです。

温もりで優しさで喜びだから、一瞬にしてすごいエネルギーを発信しているのです。

そのエネルギーの世界が本来の磁場です。

私達がこれまでずっと学んできた田池留吉の世界、真実の波動の世界です。

私は、自分の心の針を向け合わせ瞑想をする時間を日々、淡々と持っています。喜びで持っています。そうできる時間と空間にありがとうなんです。

今の肉は、まだもう少し私には必要です。一瞬にして、心の針を向け合わせることを喜びで続けていきます。私の中心棒は確立しています。今世の学びを経て確立した中心棒を礎にして、私の勉強を続けていくだけです。

自分に用意した時間を、どのように過ごし、何を思い、何を見つめて生きていくか、すべて自分の選択にあることが嬉しいです。

そして、その結果をみんな自分で責任を持つ、そういうことですね。

それができなかったから、今世より前は、心の中に苦しみが渦巻いていて、そこからなかなか自分を脱却させることができませんでした。

自分に責任を持てる、それは何をおいても本当のことを知り、真の目的に向かって歩み続けていけるだけの確信が心に育ったか

らです。

目的、生きる目的、それをしっかりと自分の中で見定められたから、もう私の時間は、混迷しません。迷走しません。

意識の世界の確立が、肉を本当の意味で、しっかりとさせます。

目を閉じ、思いを向けることにより、限りない温もりと優しさ、喜びに包まれている世界にあることを感じます。

ああ、お母さん、アルバート、ありがとう。この世界を伝えにきてくれた田池留吉の意識の世界にただただありがとうございます。

田池留吉の世界に心の針を向け合わせ、そしてたくさんの私とともに反転、転写のエネルギーを感じています。

私は、今、お水を反転させて肉体細胞に良いお水、優しいお水、力のあるお水にして、それを飲用しています。

お水がそういう状態になったかどうかは、目で見て体感しました。

それから、私は、自分が反転と思ったときに流れていくエネルギーに心を向けることもやりました。反転させて作ったお水から流れてくる波動を感じることで、目で見て体感したことに納得、納得でした。

私にとって、反転も転写も一体化しています。何を反転させるのか、何を転写するのか、それは私が反転、転写と思った瞬間に発信するエネルギーを心に感じ、私の中はスムーズに推移しています。

そうです。喜びのエネルギー、温もりのエネルギー、お母さん

の思い、ありがたいの思い、すべてが一体化して一瞬にして発信されていくのです。

実際に目で確かめ体感したあとは、もう目を閉じてどんどん心で感じていくことだけです。

瞑想をすれば、自ずと心が広がり温もりが広がっていきます。嬉しい、ありがとう、それだけなんです。喜びがどんなに大きな仕事をしていくか、これからも色々な事象を通して学んでいけることだと思えます。

言葉は一字一句その通りではありませんが、田池先生が、「私は身を粉にして、あと残された三年のセミナーの時間、誠心誠意努めます」と言われたこと、今朝、ふと思いました。

もちろん、一字一句その通りではないかもしれないけれど、その思いに今朝、窓から射しこむ陽の光の中で触れました。

すごいなあと思いました。何かその時はふうっと耳を過<sup>よぎ</sup>っただけだったけれど、なぜか今朝はすごいなあと思いました。

何がすごいのか分かりませんが、その田池先生の思いに触れたとき、やはり、田池留吉が言う田池留吉の世界の大きさとか広さとか、そういうものは私が思っているものとは格段の違いがあることを感じたように思います。

私は、ますます精進して、田池留吉の世界、アルバートの世界を心で学んでいきます。

喜んで、喜んで、今を喜んで、今の私を喜んで、そして、素直に真っ直ぐに私は私の道を歩いていけることを喜んでいればいい

と感じています。

磁場、反転、転写の瞑想はすごいです。心に向ければ向けるほど応えてくれる手ごたえを感じています。

反転のエネルギーの確認をしました。

前頭部に意識に向け、反転とエネルギーを発信します。

一瞬です。一瞬にして、ぱあーっと広がっていくのを感じます。心が一瞬にして広がっていくんです。

お母さん、お母さん、お母さんと、お母さんと呼ぶ思いが一斉に押し寄せてくる感じです。

もっと色々心は感じているけれど、それを言葉にはできない。ただただありがたいの思いが広がっていくし、温もりとか優しさの中にあることを感じます。

すごいと思ったのは、反転と一瞬思っただけで、私の中がずっと反応することです。その一瞬のエネルギーはすごいと思いました。

あと、そのまま瞑想を続けていると自然に涙が流れてきて、とても気持ちがいいんです。ありがとう、ありがとう、お母さん、アルバート、そんな思いが飛び交っている、そんな感じです。

反転と瞑想をすることが喜びなんです。なぜならば、反転と発信すれば、心に広がっていくのは温もりだからです。母の温もりです。

そして、心の針を合わせ向けられる安心感です。

反転のエネルギーは、自己確立の喜びを伝えてくれます。

ますます、反転と発信したくなります。

反転と発信すればするほど、自己確立の確かさを感じます。

こうしていけば、これを積み重ねていけば、絶対に間違いないということがさらに心で感じられます。これほど確かなことはありません。

もちろん、これらは意識の世界のことです。目に見えないエネルギーの世界のことです。

しかし、意識の世界で自己確立ができるというのは、形の世界にも反映されます。なぜならば、形は意識の現象化したものだからです。

本当に素直に意識の流れに乗って、反転とやっていたら、必ず肉としても幸せ、喜びを感じます。朝起きて夜寝るという自然な生活の中で、別に特別なこと、特別なものは何も必要ないんです。

お母さん、ありがとう、反転と思える自分と出会っていったならば、それは誰でもが実感していけると思います。

そして、まずはそういう状態に自分を戻して行って、そしてそこからさらに自分と自分の中で真実への道を焦らず、弛<sup>たゆ</sup>まず真摯に歩いていく、それが自分を大切に、本当に自分に愛しく、自分とともに生きる本来の道だと私は、磁場、反転、そして転写の瞑想を重ねて強く感じています。

田池留吉が田池留吉の世界、田池留吉の磁場、本来の磁場を感

じていけばいくほどに、私が感じていく意識の世界も連動していきます。

意識は一つだからです。

あなたは私、私はあなた、一つという意識の世界において、それは自然です。

私にはそれが信じられます。信じられるからこそ、嬉しいんです。ありがたいです。こんな簡単な学びはありません。

ただ、私は自分の心の針の向け先を確認していればいいだけです。

そうすれば、何の造作も要らないです。簡単に、これが本当の喜び、これが本当の幸せ、これが本当の温もりと、全部心に伝わってきます。心に教えてくれます。

今世、私は学ばせていただきました。母の温もりを学ばせていただきました。今、反転、転写の瞑想を通して、本当の温もりと喜びを心に蘇らせることに尽きることを実感しています。

どんなに他力のエネルギーの呪縛に喘ぎ苦しみ続けてきても、自分の中に本当の温もりと喜びがあったことを心で知れば、そんな呪縛など簡単にほどけていくことを学ばせていただきました。

自分の中を反転させていくエネルギーは、温もりと喜びのエネルギー。

そして、それが自分の中に無尽蔵にある。瞑想で知るところです。

反転実験、総入れ歯は除いて全部試みました。全部良い結果でした。特にコンタクトレンズとお風呂はうーんと頷けました。

これらは、自分で試みるところに価値があります。またそれが楽しみでもあります。反転ということ、色々なことを実験台にして、生活の中で楽しみながら、そして、それはまた自分の学びのアップに繋いでいける喜びです。

反転と発信する。そうして作ったお水は力があり美味しいです。そしてその応用もまた良い結果が出ています。

これらは、自分の目で、舌で、そして身体で体感することです。

さらに、反転、転写と発信する。その瞑想はもちろん喜びです。これは自分の心で感じることです。お水を反転させてその効果を目などで確認したことを、今度は実際に自分の心で学んでいきます。

そこで、磁場、反転、転写の瞑想。温もりと喜びの中で、反転、転写とどんどん発信していく瞑想です。そこには何も無い。ありがとうしかない。お母さん、ありがとうの思いだけ。そういう瞑想の時間を持てる今が嬉しい、幸せということです。

これは何度体験しても全く同じです。また何度でも何度でも体験できる嬉しさ、喜びです。

私は思います。一つ屋根の下で暮らしている夫婦。個々の事情があり、ともにセミナーに参加することは難しくても、同じ方向を向いて学んでいこうとする状態は何も特別なものではなく、それがごく自然なことなんだと、それが現実そうでないとなれば……、そこに大きなポイントがあるのではないのでしょうか。

2011年8月に私自身のお水に対する思いが変わって、より

良いお水を作ることをやってきました。より良いお水を作ることは、すなわち、自分の学びを高めることだと感じてきました。だから、お水を作ることを楽しんでいました。

そして、10月半ばあたりから、本格的に田池留吉の磁場の瞑想を始めました。さらに、12月のセミナーを経て、磁場、反転、転写と瞑想を続けています。

田池留吉の磁場と思いを向け、お水に反転のエネルギーを発信して、力のあるお水に、美味しいお水に変えていく実験は、それぞれに良い結果をもたらしていることでしょう。そして、この実験の応用を通して、反転のエネルギーをさらに体験されることも、ご自分の学びの一助になると思います。

目で見て、そして体感して、目に見えないエネルギーの世界の存在を信じる方向に、方向に自分をいざなっていく、肉、形を本物として、やはり肉だ、肉だという思いを自分の中から弱めていく、その効果は大いに期待していいと思います。

もちろん、これは、かつてセミナー会場で闇出し現象というお勉強が真っ盛りの時にも言えたことです。あれはすごかったです。あのお勉強はすごかったです。自分の中に湧き起こるエネルギーがマグマのように噴火していくのが手に取るように感じられました。

ああ、自分はエネルギーだ、そう実感できたのも、この肉があればこそでした。汗と涙でずくずくになっても、それでも中から出てくる温もりと出会えた喜び、幸せでした。

今の磁場、反転、転写の瞑想は、それに匹敵するほどのエネルギーの世界を心で感じられる喜びだと私は思っています。

だから、日々淡々と瞑想をしています。喜びで瞑想をしています。反転、転写と呼びかけることが嬉しいんです。中が反応するからです。そんな毎日を、一日、一日過ごせることが本当に幸せです。

心の針を向ける、合わせる。これを自分の中で徹底してやれば、どなたの心の中にも出てくる思いは一つ。

その思いとともに存在していけばいいと自ずと分かってきます。

だから安心なんです。決して変わることがない世界が自分の中にあっただと感じてくれば、そしてそれが確信となってくれば、心は不動です。

すごいことを学ばせていただきました。本当にありがとうございます。

今、さらに分かりやすく反転の実践を通して、学ばせていただいています。

ここに今、肉があることに感謝です。

私は、次元移行へただひたすらに次元移行へ、思いを向けていきます。

お母さん、ありがとうございますの思いをしっかりと心に抱きしめながら、私は、私達は次元移行へまっしぐらに進んでいきますと、響いてきます。

反転のエネルギー、心に感じています。

再び、後頭部に意識を向ける。

後頭部に反転とエネルギーを発信します。

「私は、田池留吉です。心の中に喜びのエネルギーを感じていてください。」

異語。

私の今の状態を言葉で言い表すならば、どのような言葉が適当なのでしょうか。

心が無限大に広がっていく。どんどん広がっていく。

私は宇宙でした。私は宇宙でした。そんな思いの中にあります。私の中に喜びと温もり。たくさんのたくさんの宇宙達がそのように叫んでいます。喜びに溢れる宇宙に帰ろう、帰ろう、帰ろう、そのように言っています。

留まるところなく広がっていく世界。私は今、肉を持ちながら、その世界を感じています。

私の中に宇宙がありました。どこまでも広がっていく世界です。宇宙とは私の中の意識の世界。私はその意識の中にあります。宇宙の中にあつたことを感じます。

私は今、反転のエネルギーを心に感じています。

たくさんの宇宙達に伝えてまいります。この喜びの世界を伝えてまいります。

お水の実験も、その他それを応用した実験も、みんな心に向け合わせる習慣をつけるために活用してください。

力のあるお水、美味しいお水が、なぜ、どこでもいつでもどな

たにもできるのか、そこのところに着目してください。

その他のたとえば反転実験の応用もまた同じです。

どこでもいつでも誰にでもできる。しかも自分の心の針をある一点に合わせていけばいくほどに、そこに働くエネルギーのすごさに自ら驚き、そして喜びと幸せを感じていくことは間違いない事実です。

その驚きと喜びと幸せを、瞑想という時間と空間の中でじっくりと味わっていける、そんな今であることにまた何とも言えない幸福感を感じるのではないのでしょうか。

意識の転回。次元移行へ向けて自分の意識が進んでいく喜び。これこそ、今、肉を持って味わえる最高の自分への贈り物です。どんなに間違ってきて、どんなに苦しんできて、意識の流れは自分の中に滔々と流れていた。どうぞ、この事実になんか少しでもほんの少しでも出会ってください。

人生が変わります。本当に変わります。私は、可能な限り、今学んでいる人達と250年後に出会い、そしてともに歩みを進めたい、磁場、反転、転写の瞑想を続けていて、さらにその思いを強くしています。

瞑想を重ねていけば、どなたの心にも突き上がってくる思いがあります。

それはありがとうございます。ありがとうございます、ありがとうございますの思いが心の底から湧いて出てくるのです。

ありがとうございますの思いはすごいです。お母さん、ありがとうございますの思い

はすごいです。

反転と発信するということは、ありがとう、お母さん、ありがとうと本当に喜びだけなんです。本当に反転と、そして転写も同様ですが、もうそれらは一体化して、ありがとう、喜びなんです。

どんなに病んで腐った肉体細胞も、どんなに痛みを訴える肉体細胞も、お母さん、ありがとうのこの喜びのエネルギーを伝え続けている。ああ、このことが苦しくて辛い中においても、心から感じ受け取っていける状態であれば、やがてそれは形の上からすれば不思議と表現してもいいような状態になってくる、私はそれが信じられるのです。

喜びはすごいんです。喜びのエネルギーはすごい仕事をします。もしそういう体験をされる方があるならば、それはその人にとって大きな第一歩。真実へ向かって突き進む大きな原動力となって、これからの自分をけん引していくことでしょう。

すべては自分で計画してきたことです。自分を蘇らせるチャンス、そう何度も到来しません。どうぞ、自らに巡ってきたチャンスを逸しないようにしていきましょう。

反転させたお湯につかり、手足をゆったりと伸ばし静かなひと時を持つ。

半身浴の時間があつという間に過ぎていきます。

日々の生活の中で、ちょっとした時にも反転と私はやっています。

もちろん、瞑想をする時間は心の中に反転と思いを向ければ、

それは静かに、そしてゆったりと温かな中に自分を広げていける喜びを享受できます。

瞑想をして発信するエネルギーは仕事をしていく、そういうことでした。心の針を正しい方向に向け合わせる瞑想は、どんどん仕事をしていく、そういう感覚の中にあります。

思えば通じる。優しい温もりと力強い喜びの中でどんどん思っていけばいいだけなんだ、今、私は瞑想を通してそんな意識の世界にあったことを、感じています。

反転の瞑想は、ただただ喜びです。一瞬にして心が反応します。心が広がっていきます。ありがとう、ありがとうが突き上がってきます。

磁場、反転、転写と瞑想をすれば、心の針がピッと合うというか、そんな感覚があります。

だから、ただただ嬉しいだけです。こうして、いつでもどこでも心に向け合わせていけばいいということが分かるんです。

私が作ってきたブラックの世界は、もちろん大きいです。しかし、私は、自分が作ってきたブラックのエネルギーに振り回されたりしないし、今までもそうでしたが、これから先も、心が不安定になるとかということは、決してないことが分かります。

なぜならば、私は本当の温もりを心に知ったからです。

温もりに、喜びに心に向け合わせられるからです。

それが本当の自分だと知ったからです。

そんな意識の世界に出会った肉は、当然のことながら、突拍

子のない行動は取らないし、周りと無用なトラブルなど起こすはずはありません。そんなことに無駄なエネルギーなど消費せずに、ただ嬉しい、ありがとう、ありがとうと瞑想を重ねています。

平々凡々の肉でよかったです。今、反転、転写と自分に発信できる、それが本当に嬉しいです。

前頭部、後頭部、そして首筋、要は頭全体に意識を向ける瞑想を試みました。

意識を向けて反転と発信します。

ああ、一瞬でした。一瞬にして、エネルギーがパァーッとはじけ飛ぶような、そうそのまま自分が広がっていきました。

一瞬のエネルギーはすごいと思いました。そしてその広がり嬉しんです。本当に嬉しいんです。

磁場、反転のエネルギーはすごいと瞑想を重ね、確認するばかりです。

心の針が合うということは、温もりと合うということ。

そんな状態の中では、どんなすさまじいエネルギーも一瞬にして変わる体験を、今、肉を持って学ばせていただいていることに、ただただありがたいです。

心に向ける、合わせることにすべてだと、特に今の磁場、反転、転写のお勉強を通して、はっきりと分かります。これほど分かりやすいお勉強はありません。

次元移行への喜びを本当に強く、強く感じることができます。

ありがとうと発信すること、お母さん、ありがとうと発信する

こと、このエネルギーのすごさを、私は益々自分の中で学んでいきます。

意識の転回を促すために、今の磁場、反転、転写のお勉強があります。

心の針を正しい方向に、本来指すべき方向に向け合わせたならば、そこに正しいエネルギーが働きます。正しいエネルギーとは喜びのエネルギーです。温もりのエネルギーです。

だから、そこに形の上から、色々と不思議なことが起こるのです。

もちろんそれは、これも形の上からすれば、プラスでもありマイナスでもあります。しかし、もともとマイナスなど存在しないのです。

マイナスをマイナスとしてしか受け取れない心、それが問題なんだということを、私達は肉という形を持って、自分に教えているんです。

一生懸命に自分に伝えている自分。その自分の存在を知っていくことを、磁場、反転、転写の実験であるとか、瞑想を通して促されている今です。

それは、なぜか。

意識の流れがあります。次元移行という意識の流れを心で感じ知って、そしてこれからの時間を、そこに照準を合わせられるような生き方、死に方をしてくださいということなんです。

この意識の流れに乗ってくださいということなんです。

ともに進みましょう。この流れをともに感じていきましょう。

反転とか転写という言葉とともに、一瞬にして働くエネルギーのすごさを学んでいます。

瞑想により、一瞬にして心に響く世界の喜びを感じています。

磁場、反転、転写の瞑想により、さらに定まったというか、落ち着いたというか、こうすればこうなるんだという安心感が増したというか、そういうことを感じる毎日です。

しっかりとした足取りで、自分に与えた時間を生きていく喜び、幸せを味わっています。

大きな成果を得た今の肉です。今、自分に用意した中で、自分と精一杯向き合っていける喜びを感じています。

間違ってきたことも苦しんできたことも、みんなよかったです。

本当にありがとう。自分の中に、優しい自分の中に戻れる術を得たことがただただ嬉しいです。

ありがとう、この思いを本当に心の底から発信すれば、そこに働くエネルギーはすごいです。

ありがとう。すべてにありがとうだったんです。

人間は欲の皮が突っ張っているから、ありがとうが心から言えない、思えません。

自分に都合が良いときは、笑顔でありがとうが言える。涙を流してありがとうが言える。

しかし、一端状況が変われば、そのありがとうも一変します。

それが肉を基盤として回っている世の常です。

その循環から、本当に自分を解き放していかない限り、何も変わりません。変わったように見えて感じても、時間が経過していけば分かります。

命懸け。その言葉が心に浮かびます。

今、こうして学ぶ機会を自分に用意しています。楽しみながら、心の針を向ける、合わせる訓練を重ねさせていただいています。それが自分に対する愛、優しさ、温もりだと心にしみじみ伝わってきます。

3月9日。何十年か前の今日、私は、母に産んでいただきました。ありがとうございます。本当にありがとうございます。お母さん、ありがとう。

たくさんの母の意識に私はありがとうを伝えます。母の意識もまたありがとうを返してくれます。

喜び、温もり、優しさ、ただそれだけを伝えてくれていました。心の針がピッと指す。

もう何も思うことはありません。何も言うことはありません。

お母さんを思い瞑想をします。田池留吉を思い瞑想をします。

反転、転写と心から発信します。

肉をいただいたことに、感謝、感謝です。身体を厭いといます。

そして、死ぬまで、反転、転写の喜びの道を歩き続けます。死んでからも、反転、転写の喜びの道を歩き続けます。

お母さん、本当にありがとうございます。

こうして肉を持ち、セミナー会場の時間と空間の中で学ばせていただいたことに、ありがとうしかありません。

学ばせていただいたことにありがとうございます。

目を閉じて思いを向けていくと、ありがとう、ありがとうが心の中で飛び交っているんです。

本当に嬉しいんですね。一つの肉を入り口にして学ばせていただいてきたことが嬉しい、嬉しいと伝わってきます。

どんどん本当の喜びとか温もりの波動に触れていく意識達の喜びが心に押し寄せてきます。

ただ心に向け合わせていけばいいだけでした。心の針を自分の中に向けることを知っていけば、本当に自分の中が喜んでいるのが分かります。何の理屈もありません。喜びと温もりに触れ、嬉しいと素直に喜んでいる自分自身に、いつでもどこでも出会えるんです。

「苦しんでいるあなたが間違っています」。ああ、本当にその通りでした。

何が苦しいのか、心が苦しいとはどういうことなのか、なぜ苦しんでいくのか、それさえ本当に自分の中で分かれば、あとは簡単でした。

ありがとうと思いを向けていくことが、どんなにすごいことなのか、実感しています。

反転と発信することが喜びなんです。反転、転写と思いを向けることが喜びなんです。

一瞬思いを向ける。私の中が一つになって優しさに包まれています。

自然にありがとうが出てきます。湧いて出てきます。

苦しかったことも、間違ってきたことも、温もりの中でありがとうの中に一つになっていきます。

それは、今、一つの肉を自分に用意したからこそ、学べる幸せ、喜びでした。

素直にお母さん、ありがとうと言える、思える、肉を持ってこんな嬉しい幸せなことはありません。

本来歩むべき道、本来の私自身が、目を閉じて心の針を向け合わせれば心に響いてきます。伝わってきます。

田池留吉の肉とともに学ぶ今も、来世も私には本当に重なっています。アルバートと呼べる喜びと幸せが心に広がっていきます。

反転、反転の生き方は、自分とともに生きる生き方。

反転と心の針を向け合わせると、喜び、温もり、幸せを伝えてくれる私があります。その自分とともに、いつも、いつも本当の自分とともに生きていく、心に向け合わせて生きていく、それが次元移行の意識の流れに自然に流れているということです。

幸せでないなんてあり得ません。嬉しい、ありがとうと自然に心が語ってきます。

それが自分自身でした。

田池留吉の肉は、ひたすらにそして誠実に、そのことを伝えてくれました。

私を信じて頑張ってみませんかというメッセージは、それは、それは本当にありがたいです。

素直になって、己という下らないものを捨て去って、どんどん心に向けてみてください。

こんな恵まれた環境の中で、本当のことを学ばせていただけることが、どれだけありがたくてすごいことなのか、波動、真実の波動を心に感じていけば、もう本当に何も言うことはありません。

私は、私は幸せですと言えるのです。自分に思いを向ければ、本当に幸せだからです。来世、その先、ああ、思うだけで、ありがとう、ありがとうしかありません。待ち侘びてきたことが、現実になったからです。

今を生きるということが、過去も未来も生きているということ。それが、私の中で本当にじっくりしています。

こんなこと、頭でいくら考えても絶対にそうだと誰も言えません。自分がそうだと言えない、思えないことは、誰しも信じることなどできません。

しかし、本当に反転と心の針を一点に向け合わせていったならば、もうそれは誰にも、納得、納得のことです。

ここが、この学びのおもしろいところです。本当の世界とは、そういうことだったんです。

だから、最初の第一歩が何よりも肝心です。

母の反省、他力の反省、母の温もり、ゼロ歳の瞑想、その基礎をみっちりとやっていれば、やっていけば、次元移行という意識の流れなど当然の如く心に響いてきます。

自分の中から、「いざ行かん」と力強い喜びのメッセージが湧いて出てきます。

自分の中が一丸となって突き進んでいく流れを心に感じていけば、あと何が必要なのでしょうか。当然、肉として必要なものは揃っているし、特別にこれが必要だというものは、何もないということが実感してくるでしょう。そういう状態の中で、残された肉の時間を健やかに過ごしていく、これにすぐる喜びはありません。

嬉しい、嬉しい、本当に嬉しい喜びの瞑想でした。セミナー最終日、最後の瞑想、本当によかったです。

私の中のエネルギーが異語とともに勢いよく解き放たれていくのが分かりました。両腕にジンジン感じるエネルギー。電流が流れている感覚。

アルバートへ帰る、アルバートとともに、アルバートとともに。ああ、肉を通して、その思いを感じられる喜びです。

田池留吉の磁場、アルバートの磁場のエネルギーが、自分の中にどんどん流れて、反転、反転の中で、ともに帰ることを伝え合っている意識の世界を感じられる瞑想の時間と空間を今回もいただき、本当にありがとうございました。

こうして、今、思いを向ければ、その喜びが蘇ってきます。

嬉しい。本当に嬉しい。このブラックのエネルギーがたまらなく嬉しい。ブラックは苦しみではなかった。本当に喜びでした。間違いなく母なる宇宙へ、アルバートとともに帰ることを感じた喜びの時間と空間でした。

本当にありがとう。肉を持ったからこそ、この喜びと出会えたんです。

磁場というすごいエネルギーの中にある、はい、本当に嬉しくて、ありがとうしかありません。

肉という思いで本来のエネルギーを遮ることなく、肉を通して、すうっと流していけるように、反転、反転の実習を積み重ねていきましょう。

田池留吉の磁場は、自分の外にあるではありません。

自分の外に向いて、心の針を合わせるではありません。中に向けるんです。

自分の中に、喜びと温もり、優しさのエネルギーが滾々と湧いて出てくる、そしてそれが本当の私なんだと心の底から思えたならば、反転、反転は、本当に楽しくて嬉しくてありがたい実習です。

自分に向ければ向けるほどに、喜びと温もりのエネルギーを感じるからです。

こんな確かなことはありません。自分の中から出てくる、どんどんどんどん際限なく出てくる、そういう楽しみ喜びを感じながら、肉は肉の中に存在しているだけ、これがきちんと自分の中で確立していれば、本当に生き方は変わります。

楽に生きていきましょう。楽しく生きていきましょう。反転、反転の生き方はそれを可能にします。

私達はすごい存在です。本当にすごい存在です。反転、反転として、このことを自覚していきましょう。

反転と一瞬発信する。心が一瞬にして広がっていく。温かい温もりが、お母さんありがとうの思いが広がっていく。

幸せです。ありがとう。

今は、肉体細胞とともに反転をしています。肉体細胞とともに反転と発信することが喜びです。

反転させたお水が肉体細胞に行き渡っている毎日です。

より良いお水を作り飲む。そして瞑想。それからまたより良いお水ができ上がる。それを口にする。私の肉体細胞に吸収していく。

このように、学びは私の中で順調に遂行していきます。

学びの度合いが上がればお水もまたその質を高めていけます。

よりいっそう良いお水が肉体細胞を通過していきます。肉体細胞は喜びます。その喜びとともに私は瞑想をします。

反転のエネルギーが強くなっていきます。

強くなっていけば、よりいっそう喜びの層、温もりの層が厚くなっていきます。肉を持っている間、この循環は継続します。そして肉を離していくのです。

思う、感じる、信じるの良き循環が自分の中に確立していくこ

とがとても大切ですが、その中でも、やはり思うということ、これがすべての始まりです。

思う。一点を見つめて思うということが大切なことは分かっていますが、これは同時に本当はとても難しいことです。

一点を本当に見つめて思うことができたならば、感じることも信じていくことも容易いことです。

肉的に言えば、心配事、悩み事等があれば、思いは集中できないし、ましてや身体的に苦痛があればそれはとても無理です。

また、そういうことが特になくても、心の針が他力を指している、そこから針を向け合わせていくことは、実に難しいでしょう。なかなか心の針が動かないのです。余程の覚悟というか決意が必要となってきます。

思うということ、ここにすべてがかかっています。

思う。何を思うか。ただ思うことができるか。思うことについてよしまな思いがないか。いつも新鮮な思いで自分に問いかけていく姿勢、真摯に自分と生きていく姿勢、とても大切なことだと思います。

3月のセミナー後、今日、少し長い瞑想ができる時間をいただきました。

お母さん、お母さんと、母への思いを語りたいと思いが上がってきました。

私達はこの三次元に肉という形を持ち、母よりその形をいただ

いてきました。私は何億年もの間、この地球という星で、転生というものを繰り返してきました。

母に肉体をいただいた私は、たった一つの自分を探し続けてきました。

お母さんと呼んで、お母さんと呼んで私はその私に帰れる日を心待ちしてきました。

お母さん、私はたくさんの時間をいただきました。

お母さんの中へ帰るために、たくさんの時間をいただいてきました。

自らを苦しみの底に突き落としてきた転生でした。お母さんの心を忘れた私の中に、ようやくあなたへの思いを語れる今を迎えています。

ありがとうございます。私はあなたの中へ帰ります。私は喜びでした。母の中へ帰れる私が私でした。

母の温もり、私の中にありました。

お母さん、ありがとう。私はこれからこの肉体を通して、さらに私の中を見つめて母のもとへ帰る道を喜び、喜びで歩き続けます。

私は私との約束を果たすことができたのです。

私は私を導いています。田池留吉、アルバートの道は、私が探し続けてきた道です。私はその道を心の中にしっかりと見つめ、私は喜びで私を見つめています。

反転のエネルギーを自分に向けたとき、ただただありがたいの思いが広がっていくんです。

お母さん、ありがとう。ありがとう。ありがとう。

この思いを伝え続けてくれた私自身にありがとうございます。

ありがとう、ありがとう。私は私に伝えます。

心を中心にすることを伝えていただきました。

今、私は喜びで私自身を心に感じています。ありがとう、ありがとう。ありがとう。このありがとうを私に捧げ、私はこれからも存在していきます。

田池留吉という存在は私の中に確実なものを伝えてくれました。

心の針の向け方、合わせ方、心より伝えてくださいました。

ありがとうございます。私の中へ心に向ける喜びをただただ私は味わっていただけです。

何をしても、何を思っても、私は私を思えることに限りません。ただただそのことをやり続けます。

肉という形を持たせていただき、ありがとうございます。

私の歩みは、私の中で確実に足並みを揃え、喜び、優しさ、温もりを伝えてきます。これが私の世界。母へ帰る私の中の歩みです。

私はすべてをここにしっかりと懸けてこれからも生きてまいります。

私は250年後、アメリカ、ニュージャージーの貧しき家に生まれます。そして、私はその家から、この心の世界を広げます。

貧しき環境の中。苦しき環境の中。しかし、私の心に明るい灯。灯、私の心の中に優しい灯、力強い灯。私はその明りをしっかりと抱え、私はアルバートと出会います。アルバートに出会う時を私は心待ちしています。

出会いがすべてだと私はすでに伝えました。出会いがすべてです。私の中に点った明るい光が、それこそこの地球全土、宇宙、

すべてを照らす光へととなっていくのです。

私のエネルギーは、今その時を待ちかねています。

心から流せる喜びを味わいながら、私はこれからの250年、300年の時を経てまいります。

意識の世界より、私は伝えます。

私達に心を伝えてくださったお母さんにありがとうの思いを伝えます。

お母さんの意識にありがとうございます。私は心よりこのメッセージを送ります。

日々、勉強です。自分を見つめる勉強です。私は喜びで自分を見つめています。感じています。私の勉強は自分を落としこめる勉強ではありません。

いつも自分に優しく思いを向けながら、ともに生きていく喜びを感じています。

私は本当に幸せです。本当のことを自分から伝えてもらって、また本当のことを自分に伝えてというそんな中に私はずっとあったんだと分かって、だから心を見て、自分を感じて、自分のエネルギーを感じてということが、どんなにありがたいことなのかと実感です。

たった一つの真実を知るために、決死の思いで今の肉を持ってきた事実をかみしめながら、日々、勉強です。

田池留吉の磁場、そして反転のエネルギーを深く強く心に広げていく勉強を喜びながら、楽しみながら進めていきます。

お母さんの反省に始まって、お母さんの反省で終わる。そう言っても決して言い過ぎではありません。

お母さんに産んでもらったこと、肉体をいただいたこと、そのところを本当に心で知っていけば、もう何も言うことはありません。

すべて間違ってきたんです。何もかも間違ってきたんです。

それでも、こうして肉体を持たせてもらって自分を知る機会をいただいています。

反転と自分に思いを向ければ、そのありがたみ、嬉しさ、幸せ、喜び、もうもう心に充満していきます。そして、それが自分自身だったんです。

反転のエネルギーは喜びのエネルギーです。

反転のエネルギーは温もりのエネルギーです。

反転のエネルギーはすごいです。

反転と自分に思いを向けられることがどんなに幸せであるか、日々感じていきましょう。今という時間、本当に大切にしていきましょう。

私は何も要りません。必要なもの、ことはすべて整っています。

今が幸せということは、過去も未来も幸せということです。

今が喜びということは、過去も未来も喜びということです。

そんな世界を私の心は学ばせていただきました。

日々、淡々と瞑想を重ねて続けていけば必ず変わります。

それぞれの素直さ、真摯な思い、もちろんそれは学びに対して、自分に対してです。

その程度、度合いにより、反転の瞑想は効果を発揮します。

欲の人はどこまでも欲いっぱいです。

そうではなくて、本当に幼子の心で、お母さんのお腹にいた頃の思いで、学びと向き合い、自分と向き合っていけば、誰でも、みんな簡単に分かる世界です。

田池留吉の磁場は自分の世界だからです。自分だからです。反転と本当に自分に思いをすうっと向けていけば、もうそれは歴然とした事実なんです。

こんな簡単なことを、今世肉を持って知ったことが本当に嬉しいです。

肉というものを自分だと思ふ思いを反転とすればいいだけなんですから。

反転としていけば、そこにあるものはただただ喜びだけです。温もりだけです。

本当の自分がそこにあった、こんな簡単なことが長い長い時間、なぜ分からなかったのか、逆にそんなことを思ってしまう。

毎日が楽しい。何はなくても楽しい。きっとそれは私自身が本当のことと出会えたからでしょう。

心の底から湧き起こる思いに、いつでもどこでも触れることができます。

今、次元移行と簡単に言っているけれど、これは本当に大変なことなんだと改めて実感する毎日です。

ようやくこの事実が現実となって私の中に迫ってくる時を迎えられたことに、ただただありがとう、ありがとうしかありません。磁場、反転も私には、次元移行への喜びを伝えてくるばかりです。だから磁場、反転、そして転写と自分の中から発信することは喜びだけなんです。

磁場、反転、転写と発信して、その中に一つに溶け合っていく自分を感じていくことが私の瞑想の喜びです。

自ずと、お母さんありがとう、肉体細胞ありがとうと出てきます。ありがとうしかない世界を感じ広げていけば、何はなくても楽しいです。毎日が楽しいです。

今、私は瞑想をしていけば、今世はこんな肉を持って、こんな環境の中で、こうして学ばせていただいていること、そしてまた250年後に肉を持ち、こうして学びを自分の中で進めていること、そんな嬉しい思いだけが私の中に残っているのを感じます。

間違いを繰り返してきたけれど、今、私は確かに自分の中の真実に一步、また一步と歩みを進めている事実、現実が私の中に喜びとして広がっていくんです。

これは紛れもない事実、現実です。

肉を纏っていても纏っていなくてもこの事実、現実だけを私はじっと感じていけばいいことも確認できる今です。

すごいと思いました。

意識の世界を知っていくことは、本当にすごいと思いました。  
何もなくても、この世界がある。

そしてこの世界こそが私の真実だった、瞑想を重ねていけばいくほどに、その思いだけが強く太くなっていくんです。

ありがとうございます。私はありがとうございますと反転のエネルギーを強めていきます。

反転のエネルギーが強くなっていけばいくほどに、この地球上の様子が変わってきます。

あと300年です。喜びでその時間を通過していきましょう。

セミナーに行きたくても、諸事情でなかなか行けない人もあるかと思います。

私はこれまでそういうことは一度もなかったから、それだけを考えてみても私は幸せ者だと思つづくと思います。

考えてみれば、毎回セミナーに集えるということはすごいことでした。特に、以前は月に二回のペースだったと今更ながら振り返れば、本当にそれは驚きです。

今日は、反転の瞑想の中でそんなことが心に上がってきて、本当に学びの時間をいただいてきたことがありがたいというか、嬉しいというか、そうです、やはりありがとうございますがありません。

今、私は、反転と自分に思いを向けて瞑想をする毎日です。

特に私は身体的にどこか痛いとか調子が悪いとかということはあまりないので、それに対して自分に反転をして自分自身、びっくりする体験はまだありませんが、磁場、反転、転写のエネルギー

一は感じています。だから、反転させたお水を飲むことについては積極的です。

その他、反転としながら食事をするとか、反転させたお湯につき半身浴をするとか、反転を実生活に取り入れています。

そして何よりも大切な磁場、反転、転写の瞑想の時間を持っています。

心の針を向け合わす瞑想の時間、そこをおざなりでは何も始まりません。しっかりと正しい瞑想ができるような環境を作り、反転、反転と肉も楽しく過ごしていきましょう。

私の日常生活は平々凡々だけれど、その中で、ふっとした時、何気ない時に心に広がっていく安らぎ、喜びを感じます。

それは言葉には言い表せられません。しかし、確かに私の心の中にふつつつと喜びが広がっていくのが分かります。

ああ、幸せだ、私はこの心に広がり感じている幸せ、喜び、嬉しさ、本物だと信じています。

幸せ、喜び、嬉しさを感じるのに何も要らなかった。この今の自分の中にそれらが全部あったと感じる私には、本当に取り立てて何も要りません。

お母さんありがとう、このエネルギーはすごいものでした。

心から母にありがとうと伝えられるということはすごいことでした。

反転は私にありがとうの喜びと温もりと幸せを伝え続けてくれます。

反転と特に言葉にしなくても、思えばもうそれで私の中に広がって行く世界があります。

反転と思えばアルバートだし、反転は次元移行へ確かに繋がっている私の道です。私は嬉しいです。ただ真っ直ぐに次元移行だけを見つめて存在していける喜びを、日々の瞑想の中で感じています。

「自己確立。本来の自己確立。反転はこれを可能にします。

自己確立です。心の針の向け先、合わせ先の確信です。そのために、今、肉を持っています。」

このメッセージが自分から自然に出てくれば、あと肉はそれに従っていただけです。

瞑想をすれば、自ずと反転のエネルギーを心に感じます。心に広がっていきます。そしてそのエネルギーは、私になおいっそうの信を深めていくように促してくれます。

「あなたの喜びです。あなたの幸せです。ともに感じともに広げていきましょう」、そんなメッセージが私の中に響いてきます。

「瞑想とは思うこと、感じること、そして信じること。」

静かに確信に満ちた喜びと幸せが心に上がってきます。

思えば、お母さんありがとうと出てきます。肉体細胞ありがとうと出てきます。ふつふつと私の中から湧いて出てきます。それは自然です。

こうして、今、肉体を持って学ばせていただいたから、自分の軌道を真実の道に乗せ、粛々と歩みを進めることができます。

今世を迎えることなくして、これを私の中で達成することは叶いませんでした。

瞑想を重ねてきました。今は磁場、反転、転写と瞑想を重ねています。その時間と空間の中で、私は喜びと幸せを感じ広げています。

磁場、反転、転写、そして私は宇宙、アルバート、次元移行、そのほうへどんどん思いを向けています。

瞑想は自然に私を次元移行へといざなっていきます。

過去も未来も今と一つになって、私の中で次元移行の喜びを伝えてきます。

磁場、反転、転写の瞑想。心で感じ心に響いてくる世界はすごい。私は私の心でそれを証明しています。今世の学びを本当にありがとう。

目を閉じて心に向ければ必ず感じられる世界があります。

ふつふつと心に伝わり広がっていく喜びと温もり。幸せを感じています。

私の中に広がっていくから信じられるのです。

鈍感で瞑想をしても何も感じられなかった私でしたが、今はどこでもいつでも、ふっと思えば、ああ、通じていると思えるまでに成長させていただきました。

鈍感だった私の心の中を揺さぶり起こしたのが、今は昔のお話

ですが、セミナー会場での宇宙に向けての闇出し現象でした。あれからもう十年以上の年月が流れています。

苦しみと恐怖の宇宙への思いが、今は本当に変わりました。磁場、反転と思いを発信すれば、本当に私の中にすごい喜びのエネルギー、温もりのエネルギーが広がっていくのが分かります。

だから、私は宇宙と思い、そこへ磁場、反転、転写のエネルギーを流していく瞑想がたまらなく嬉しいんです。

お水の反転、その他色々反転の実験によって、磁場、反転、転写のエネルギーのすごさを実際に形の上で確かめて驚き、なるほどと実感することももちろん喜びですが、瞑想を通してそれをさらに実感していきましょう。

自分の心にしっかりと響く喜びと今を生きる充実感があるからこそ、反転、反転と実生活に取り入れていけるのです。反転生活が立ち消えになることはないのです。瞑想を通してますます、磁場、反転、転写のエネルギーを感じていくからです。

本来の磁場を思い、反転のエネルギーを、喜びと温もりのエネルギーを自分の肉を通して流すことができる人間、そんな自分達に一日も早くなりましょう。

自分の肉を通して流れ出す喜びと温もりのエネルギーを、逆に自分の心で感じてみましょう。

そうすれば、ますます磁場、反転、転写の瞑想に磨きがかかります。

欲、そんな薄っぺらな思いなどどこかに吹き飛んでいってしま

います。

たとえば、ただ単に自分の身体等の不具合を直すなんていうことは本当にちっぽけな世界のことなんです。

もっと、磁場、反転、転写のエネルギーを心に感じ受け止めていけば、そうできる、そうすることがどんなに喜びであるのか分かってきます。

そうです。ただただ喜びです。

磁場、反転、転写のエネルギーを、肉を通してスムーズに宇宙に流していけることは喜びなんです。

肉の壁で遮ることなく、ただただすうっと、そして力強く喜びで流していけるように、日々それぞれ精進していきましょう。

そのために私達は生まれてきました。瞑想を通してこの事実をそれぞれの心でとらえてください。

「お母さん、ごめん。お母さん、ありがとう。」

まずそこから始めなければ何も始まりません。

磁場、反転と思い瞑想を続け重ねていけば、どなたも必ず、必ず、母への思いを振り返らざるを得ないのです。

自分が広げてきたブラック、マイナスのエネルギーがどんなにすごいものなのか、磁場、反転の瞑想により自分自身に響いてきます。

それが磁場、反転のエネルギーの喜びなんです。すごいエネルギーなんです。すごい喜びのパワーなんです。

自ずと本来の自分の中に自らをいざなっていくます。

「お母さん、ごめん。お母さん、ありがとう。」

この思いを自分の中にずうっと大きく深く広げていける喜びを感じていってください。

みんな間違ってきたんです。正しく存在してきた人などこの世に一人もありませんでした。

そのことを本当に心から分かっていくことが、本当の喜びの道、幸せの道に繋がっていきます。

磁場、反転、そして転写のエネルギーは、これからもただただそのメッセージを伝え続けていくでしょう。

磁場、反転、転写の瞑想をどうぞ、どうぞ、淡々と喜びで継続していきましょう。いいえ、していってください。

磁場、反転、転写の瞑想はやればやるほどすごいです。

学びの年月の長い人も短い人も本当は関係がないんです。

その人が本当にやろうと決意したならば、必ずその思いは自らをいざなっていきます。次元移行という意識の流れに自らをいざなっていきます。

私は、反転と瞑想をすれば、もう中は本当に喜び勇んでいるのが分かるんです。250年、300年を心に感じ心に響いてくるからです。

中がアルバートと呼んでいるのです。アルバートと本当に呼んでいるのです。その喜びというか、何とも言えないすごい勢いを私は今、この肉を通して感じさせていただいています。それは本当に喜びなんです。本当に嬉しいです。

次元移行という意識の流れをつぶさに感じられる磁場、反転、転写の瞑想を私は、これからも自分の時間の中でゆったりとしっかりと持たせていただきます。

それが私に対する最高の贈り物です。ああ、だから私の人生、本当に幸せです。お母さん、ありがとうございます。

みんな姿、形が違うように、それぞれに価値基準があります。価値基準が違っていれば、考え方も大きく違います。そんなことは当たり前でしょう。だからそんな当たり前のところに引っかかったりしていても<sup>うち</sup>埒が明きません。

それよりも、反転です。磁場、反転、転写の瞑想です。

何のために自分は生まれてきたのか。何のために、今の肉を持ってここにあるのか。

一人ひとりが真剣に真摯にこのことに向かい合っていけば、真剣にひたすらに、今、肉を持っている今、きっちりと学んでいくでしょう。

学びに出会えていない人は論外です。

学びを知った以上、真摯に学んでいくことが自分に対しての誠意です。

本当の自分にどれだけ誠意を尽くしてもらってきたのか、私は、瞑想をする中で、そのありがたみが心に響いてくるんです。

自分に誠意を尽くしてもらってきた、何度も、何度も肉という形をもらってきた、そして今に至っている、この自分の中の流れには、本当にありがとう、ありがとうしかありません。

反転、反転の生活は楽しい。

そんな声があちらからもこちらからも聞こえてきそうな勢いで  
す。

もちろん、これは反転を色々と実生活に取り入れて、あんな  
た、こうなったというところで、まず驚きを肉で味わうところか  
ら始まるのでしょうか。

人それぞれですが、そのところである程度、驚き、反転という  
ものに納得すれば、あとは、どんどんそれを今度は自分の中の意  
識の世界に適用していくんです。

自分の中を反転。つまりは自己供養です。

実生活で色々と試みた反転のエネルギーを、どのように自分の  
中に活用していくか、そのところが一番のポイントです。

ぶれないでください。

ポイントをしっかりと押さえた学び方。

そうすれば、反転、反転の生活は楽しい。本当に楽しいんです。  
嬉しいんです。何がなくても、自分の中で反転と発信して、そし  
て自分の中が一斉に呼応してくる喜びと嬉しさ、ここをどんどん  
感じていけば、本当に反転、反転の生活は楽しいです。

そしてそこから見えてくる、感じてくるのは、次元移行しかあ  
りません。

アルバートしかありません。そんな楽しくて実のある瞑想がで  
きる今、本当に嬉しいです。

自分の中で対話できる手ごたえを、今世、学ばせていただいたことにより、ようやく感じられるようになりました。

自分の中で、自分と対話する。本来はずっとそうだったんです。自分と向き合っていける状態に、今世、ようやくならせていただいたことが、本当に嬉しいです。

意識の世界は一つ。自分の他には何もない。その自分とはいったい何なのかが分からなくては、本当に闇の奥のまた奥でした。

静かにそしてゆったりと瞑想をする中で、磁場のエネルギーを感じます。喜びのそして温もりの力強いエネルギーを感じ、その中で自分を思えばよかったです。

宇宙にはこの喜びと温もりしかありませんでした。

その中で、自分と向き合っていくことは、ただただ喜びだけでした。

本来の自分、本来の磁場に心に向け、合わせていくことが、たった一つの喜びの道、救いの道だと伝えにきてくれたこと、本当にありがとうございます。次元移行へさらに心に向けてまいります。心を合わせてまいります。

磁場、反転と瞑想を重ねていけばいくほどに、そこに働くエネルギーが増してきます。

エネルギーが増すということは、奥深く眠っている、鎮座する意識にも、喜びと温もりが届き始めるということです。

意識の世界は広大で無限です。そして本来の意識の世界は、喜

びだけ、温もりだけの世界です。

しかし、私達は、それと相反する世界を培ってきました。しかも、その培ってきた世界もまた深いのです。その深い、深いブラックの世界に、今世という時間の中で、ようやく目覚めと気づきの第一歩を打ち立てました。

それがどんなに大きな意味を成すかは、磁場を思い、反転のエネルギーを感じることによって、それぞれが心に感じる場所となるでしょう。

**奥深くに眠り鎮座するブラックの世界が、これからの時間の中で、どんどん表面化してきます。**

**宇宙が動く、そう表現してもいいと思います。それは、磁場、反転のエネルギーが、その威力を増していく大きな証です。**

**次元移行という意識の流れは粛々と遂行しています。**

私は、ただ磁場を思い瞑想をするだけです。反転と発信します。奥深くに鎮座する意識達に、このアルバートの喜びと温もりを伝え、届けます。

要は、自分の中で一本の道がはっきりとしっきりと見え、その道を今、自分は歩んでいるという確信が持てればそれでいい、たったそれだけのことです。

一本のはっきりとした道、次元移行へと続いていく道。

磁場の瞑想の中で、さらに母への思いを感じていく。母の瞑想を重ねてきて、母の意識、温もりに対して徹底的に歯向かってきた自分の世界を見つめてきたからこそ、今、磁場、反転、そして

転写の瞑想が本当にすごいものだとは心で分かります。

徹底的に排除してきた温もりこそが、今、自分に対して本当の優しさ、本当の喜び、そして次元移行という意識の流れを静かに力強く伝えてくれていました。

私自身の約20年に渡る今世の学びから、私は学ばせていただきました。

250年、300年に至る時間の中で、自分がどのように存在していけばいいのかも、私は自分の中ではっきりとしています。

だから私は幸せなんです。肉の生活もちろん何の不自由もありません。それよりも何よりも、私は私の道が見えた、見えている、こんな幸せで嬉しいことはない、瞑想をして感じている今なんです。

私は、自分が作ってきたブラックに心を向けることがたまらなく嬉しいです。愛しくて、愛しくてたまりません。

奥深くに鎮座するブラックのエネルギー。

ああ、本当に次元移行へ向けて、今、こうして存在できていることが本当に嬉しいです。心の中の温もりと喜びを大きく、大きくしてくれる意識達です。恐怖はないです。ただ嬉しいだけです。

私はずっと宇宙へと心に向けて瞑想をすることを楽しみにしてきました。磁場、反転、転写の瞑想は、さらに宇宙へと心に向ける喜びと嬉しさを感じます。

温もりだけが、喜びだけが、そして、次元を超えていく確たる思いだけが、私を支えています。

今という時に肉を持たせていただいたこと、そのことに心を向ければ、私の中は張り裂けんばかりのエネルギーを感じます。

それほど肉を持って、本当のことを自分に伝えていけることを待って、待って、待ち望んできたんだということでした。

自ずと心はアルバートを呼んでいます。アルバートと呼ぶ、アルバートに思いを馳せることが、ただただ嬉しい。意識の流れはアルバートとともに、反転はそれを実感させてくれます。

「意識の流れは次元移行を指して粛々と流れている。

このことを一人でも、そして少しでも心で分かっていたきたい。

ともに次元を超えていきましょう。」

私達はいつもこのメッセージを伝えています。磁場、反転、転写という言葉を使って、何ら変わることはないメッセージを発信しています。

取っ掛りに水の反転があります。そこから色々と反転の実験、体験をしてみてください。単純に驚くところから始めてください。

驚きとか不思議を体験して、そして次になぜそうなるのか考えてください。

もちろん、考えて分かる世界のことでないけれど、たとえばお水に反転と発すれば、美味しくて力のある状態になるというのは、反転というエネルギーが働き仕事をしたということは理解できると思います。

では、「そこに働き仕事をするエネルギーはどんなエネルギー

なのか。

そのエネルギーはどこから来るのだろうか」と心を見て瞑想をするのがこの学びです。

そうすれば、自分の中をどんどん反転していくことが一番大切だということが自然と分かってきます。

お水を反転したり、メガネ等の反転を試みたり、身体の不具合を調整したりしてみて、まず磁場、反転のエネルギーを肉で実感して、そして自分の中を反転させていく実践を積んで、次元移行という意識の流れを自分の中に広げていきましょう。

次元移行という意識の流れを自分の中で確立する、これは自分の心でしか感じられないことです。どんなに言葉で伝えられても、自分の中で、自分で確認できなければどうしようもありません。

そのたった一つの手段は、正しい瞑想だけなんです。正しい瞑想が少しでもできるようにと、今、磁場、反転、転写の実践をしています。

最近、反転と自分の中に発すると、何か途轍とてつもなく大きなブラックのエネルギーを感じます。

反転の瞑想は、そのブラックのエネルギーをどんどん紐解いていくようなそんな感じの瞑想です。

心に向けることが喜びだと分かります。反転と発することが喜びだと感じます。意識の世界の奥深さを感じずにはられません。

具体的な名称を口にして、私はそこへ心に向けてみます。

そうすれば語ってくるんです。自分の窮状きゅうじょうを語ってきます。

その世界というか、意識を感じていけば、これまで感じてきた大きくて深いブラックの世界が、小さなちっぽけな世界にしか感じられないんです。

そして、さらに大きくて深いブラックの世界を自分の中に包んでいけるような感覚になります。

それほど、磁場そして反転の瞑想は、私の中で功を奏しているように思います。

磁場のエネルギー、反転のエネルギー、転写も同様ですが、そのエネルギーを感じていけばいくほど、奥深く鎮座するブラックのエネルギーを呼び起こし、私達は温もりなんだ、喜びなんだとはっきりと伝えていける、そんなお勉強が確実に自分の中で進んでいくことを感じています。

A。肉の私には全く見当もつきません。A。言葉は聞いたことがあります。心を向けてみます。

人々の心を牛耳ってきたと出てきました。Aは苦しいと語ってきました。深い、深い眠りから覚めたような感覚でした。

Aの苦しい意識を感じ、私の中から、この苦しい意識に、アルバートの優しさ、温もりを伝えていきたいという思いが出てきます。

人々は、悠久の昔より、神を、もっともっと深遠なる神の世界を求めてきた。今もAに思いを向けている人々は、この地球上にたくさんいます。もちろん、肉を持っていない意識達の中にも、

Aと繋がっている意識達もたくさんいます。

Aというブラックのエネルギーに、温もりと優しさを伝えることができる今という気がします。

これは、磁場、反転の瞑想を重ねてきて、そして磁場のエネルギー、反転のエネルギーがすごいということをお話していると思います。

磁場に心に向けていけばいくほど、奥深く眠っていたブラックのエネルギーも眠りから覚め、そして、ともに次元移行へという道筋に宇宙はあるのだなあと感じます。

温もりと喜び、優しさを心から発信していきます。

私はB。私は母の温もりに背いて生きてきた。地獄の奥底を這うように生きてきた。Bと名乗る意識は苦しみの底にありました。今、私は心の中に温もりを感じ始めています。

私にいざなう意識があります。

「温もりを思い出さない。あなたの中にある温もりを、あなたの中にある喜びをどうぞ、どうぞ、心の中に広げていきなさい。心の中に広げていきなさい。」

私の中にそのような心の声が伝わってきます。

誰ですか。何ですか。心に向けなさいと伝わってきます。

Bと呼ばれて、私は大きな世界を作ってきたと思ってきました。しかし、私の中にあるものは苦しみと呪いと、とてとても大きな、大きな恐怖の塊でした。

心を見なさいと言われても、私は恐怖の塊でした。じっとして

いるだけでも苦しかったです。

Bは苦しみの底に沈んだ意識であると、今、私は、ここにはつきりと伝えます。

私に温もりと喜びをください。私に温もりと喜びを伝えてください。地獄の底で這いずり回るのはもういいです。

はい、少しでもここから抜け出したい。私を呼び覚ます大きな、大きな喜びと温もりがあるような……。それがあなただと伝わってきます。

心を見てくださいと伝わってきます。喜びを心に広げていきなさいと伝わってきます。

反転のエネルギーは大きな、大きなエネルギー、喜びのエネルギーです。マイナス、ブラックの世界に必ず響き届いていく大きな喜びのエネルギーであると私の心から流れていきます。

そうです。この喜びと温もりを私は全宇宙に伝えたい。届けたい。

心からそのように思います。私の名前はBだと伝わってくる意識に母の温もりを届けます。

「あなたの中にある喜び、温もりをどうぞ信じてください。それがあなた自身です。その思いがあなたを地獄の底から救っていくんです。」

私はそのように伝え続けます。

Cと応える意識に思いを向けてみます。

ああ、苦しい、苦しい、苦しい、苦しい。私を崇め奉らないでください。

Cは苦しみです。温もりを忘れ去った苦しみの意識です。ブラックのエネルギーを宇宙に大きく広げてきました。

我こそ大宇宙なり。Cという名前を心に刻み続けてきた人々の心の中に、今もCの思いがしっかりと残っています。

Cは苦しみの奥底から今、蘇る時を迎えるでしょう。目覚めます。宇宙の目覚めです。宇宙へ反転のエネルギーが流れています。

母なる宇宙へ帰りましょうという優しい力強い呼びかけのもとに、我もまたその呼びかけに応えていきたいというのがCの今の切なる思いです。

Cを心の中に包み込んでください。パワーの源が私ではありません。私のパワーはブラックです。母の温もりの中に帰りたい。私も帰りたい。パワーを求めてきた意識達よ、Cの中へその思いを広げてください。

母のもとへ帰りたいという思いを、どうぞ心に広げてください。

Cは崇め奉る存在ではございません。心の中を私はさらけ出したいです。

苦しみの奥底からようやく新たな私へと旅する、いざその時を迎えることを感じます。

その時期が今まさに巡ってきています。私はC。語らせていただきありがとうございます。

私の中に反転の喜び、温もりのエネルギーが届きます。ああ、嬉しい。苦しみではありませんでした。

Cよ、ともに帰りましょう。語ってくださりありがとうございます。心の中に伝えます。喜びと温もりを、母なる宇宙へ続くこの道をしっかりと伝えます。Cよ、あなたは喜びです。温もりです。

私達とともに、ともに次元を超えていく意識なんです。

どうぞ、そのことを信じて、信じて、心の中に温もりと喜びを思い起こしなさい。

**「次元移行の意識の流れを自分の中に確立する以外に、救いの道はなし。」**

はっきりと伝わってくるメッセージです。

反転、反転と自分の中に思いを向けて、まずはしっかりと意識の流れの存在を心で知ることです。意識の流れとは何かを知ることです。

今を境に大きく宇宙が動いていることを本当に心で感じ知っていけば、こんなに嬉しいことはありません。

そのことを自分の心で確立するには、どなたにも共通のやらなければならないことがあります。

本気になって、真剣になって、真正面から自分の培ってきたブラックの世界と向き合っていくことです。

日常生活の中の様々な場面で瞬間に出すエネルギーを確認していくことはその第一歩です。

自分の中のブラックを確認するために、肉を持つ今があることを心から知れば、欲得なしに今をありがとうと自分に言えます。

中から出てくる優しさは、肉的な表面的な優しさとは雲泥の差

です。

その優しさを感じられるのは、自分の中のブラックのエネルギーを心で受け止め心で受け入れる作業が絶対に必要なんです。

そうして初めて、本当の優しさが分かってきます。

反転のエネルギーに触れる、反転のエネルギーをどんどん増し  
どんどん強める、それが本当の愛の実践。私はそのように感じて  
います。

田池留吉の磁場を思い、Dの大予言、D、そのほうに心を向けてみます。

はい、その先にあるのは、ブラック、ブラック、ブラック。どこまでもブラックの世界。底知れぬブラックの世界を感じます。

人々の心の中に何を伝えたか。ただただ恐怖の<sup>るつぼ</sup>罅に陥れた。その正体はブラック。すべてを打ち消してきたブラックのエネルギー。

後世に伝わり称えられているような世界ではありません。ちっぽけな、ちっぽけな世界でした。真実を知らないブラックの世界を感じます。どこに繋がっているのか。ただただ母の温もりを忘れた暗闇の中。

人々は心のどこかで何かを求めてきたんです。ああ、そうです。恐怖をかきたてるのではなく、そうです、私はそういう思いから予言したわけではありません。

はい、こうして私は計り知れない時間の中で心をしっかりと閉じてきました。苦しみが、苦しみが広がります。ああ……。

何が間違ってきたのか分かりますか。温もりを忘れ去って、ただただ己を現してきたんです。肉の中で己を現してきたんです。そのことを伝えます。私達の心の中にある安らぎ、優しさ、温もりを忘れ去った結果、この苦しみの闇黒の世界を創り上げてきました。

心の中をしっかりと見つめていきなさい。そうです、しっかりと見つめていくのです。優しさ、温もりを忘れ去った心を見つめていきなさい。

人々の心に恐怖の思いをかきたてる予言などあってはならないのです。確かに私達の学習の場であるこの地球は衰退の一途を辿ります。しかし、私達が伝えているのは喜びです。地球が滅んでいく恐怖を伝えているではありません。

私達が伝えているのは喜びです。真実の自分達の姿を思い出していきましょう。そのように私達は呼びかけています。

母の温もりを忘れ去った意識達にこのことを伝えます。

Dもその意識の中にあります。だから、遠く、遠く気の遠くなるような長い時間、全く真っ暗な暗闇の重石の中でただただ自分を閉じ込めてきた、そのことを少し伝えました。

しかし、心の中を開いていくのは、あまりにも人々の欲の心が、長い、長い時間、重く、重くのしかかって、なかなかその扉を開くことは難しいです。

ああ、しかし、今、こうして心に向けさせていただきました。少しずつ、少しずつ、この温もりが染み込んでいけばもう少し語っていただけるとかと思えます。

Kさんのお宅で、以前に出版された本を手に取りました。そのうちの一冊の本の後ろのページで「アトランティスの悲劇」という文字を目にしました。自分の中に何かを感じました。アトランティス、その時にその文字に心が動きました。

そちらのほうに今、思いを向けてみます。

アトランティス大陸が沈んだとき、私の心の中には大きな、大きな衝撃がありました。神を呪う思いです。この神を呪う思いが私の中に、本当に大きな衝撃として残りました。

私はその大きな衝撃のまま、何度か転生を繰り返しました。そして、今このようにして、田池留吉の肉とともに、この三次元に肉という形を持ち、真実を学んでいるという今があります。

私は、自分の中にアトランティス大陸という思いを、これまでに何度か向けてきました。

今、磁場、反転というお勉強が進み、その反転のエネルギーの中で、再び、アトランティス大陸ということに思いを向けるチャンスを得ました。

「アトランティスの悲劇」という文字を見たとき、私の心は何かを叫びました。

そうです。アトランティス大陸が沈んだのは悲劇でも何でもな

かったんです。アトランティス大陸が沈んでいったのは喜びでした。

私の心の中からそのように伝わってきました。

アトランティスの悲劇はあり得ないことだったんです。私は、ああ、あの当時、神を呪い、この肉体を捨てました。

その時は、大きな、大きな衝撃のもと、ああ、どうしても、どうしても神を呪う思いを自分の中で受け止めていくことができませんでした。

これがこれまでの私の転生でした。今世の転生までの間、ああ、どれだけ私の心は苦しみの底を這いずり回ってきたことか。

そして、今、アトランティス大陸と思いを向け、自分の中に反転のエネルギーを広げていったとき、ああ、アトランティス大陸が沈んだのは悲劇でも何でもなかった。アトランティス大陸が沈んだのは喜びそのものだ。ああ、私の中が間違っていたんだ。ああ、お母さんごめんなさい。ありがとう。そして、ああ、アルバート、ありがとう。ありがとう、ありがとう。

そんな思いを、今日、「アトランティスの悲劇」という文字から、私の心はそのように思いを向けさせていただいています。

今、アトランティス大陸、反転とエネルギーを向け、さらに、私はアトランティス大陸に思いを向けています。

ああ、本当に嬉しいです。この喜びの思いが、はい、再びこの地球上にやってきます。

そう遠くない時間の中で、私はそのことを心でしっかりと感じています。アトランティス大陸が沈んだ時以上、いいえ、それを超える、何倍も何十倍もの力がこの地球上に加わり、それが本当

に大きな、大きな喜びとなって、人々の心の中に、大きな、大きなこれまでとは比べ物にならない衝撃を与えていくことでしょう。私はそのことをしっかりと感じさせていただきました。

今日、本の後ろを見て感じたことは喜びでした。

アトランティス大陸よ、本当に申し訳ございません。アトランティス大陸よ、ありがとう。私は今、アトランティス大陸に思いを向けています。

心の中にどんどんどんどんエネルギーが湧き起こってきます。

アトランティス大陸に思いを向けてきた時の私の思いを反転とします。このエネルギーはすごいです。

宇宙が動いていきます。私は少し前、ゼウスという言葉を出しました。

ゼウスが目覚めることは喜びです。ゼウスに心に向けていくことは喜びです。心の中をしっかりと見つめ、私は、ゼウスという大きな、大きなエネルギーを宇宙の中で包み込んでまいります。

田池留吉、アルバートのエネルギーの中で必ず、ゼウスのエネルギーをしっかりと受け止めてまいります。アトランティス大陸のもっともっと比べ物にならないほどのエネルギーがこの地球に湧き起こってきます。

ゼウスの目覚めは宇宙の目覚めです。ありがとうございます。ありがとうございます。

田池留吉の磁場を思い、ムー大陸を思います。アトランティス大陸と同様にムー大陸を沈めるエネルギーの大きさを思います。

そして、田池留吉の磁場を思い、反転とします。そのようにして瞑想を続けます。

ムー大陸が語ってきます。ああ、人々の心の中にある欲の思いを一身に受け、ムー大陸は沈んでいきました。人々の心の中に欲の思いを見てくださいと、ムー大陸はそのメッセージを送り、海の底に沈んでいきました。

今、ムー大陸を思っています。田池留吉の磁場の中、反転のエネルギーの中、ムー大陸が語ります。

「お母さんの優しい、優しい温もりの中、ムー大陸の喜びを感じていただきたい。当時、ムー大陸とともにその命を捨てた意識達、その肉体を捨てた時、神を呪い、自分を呪い殺し、すべてを捨て去ったその心をしっかりと自分の中で受け止めていく今です。

ムー大陸の意識に心を合わせ、そこからどのようなエネルギーを感じていくか。

苦しみを作り出したのは、欲を広げてきた人間の心。ムー大陸に罪は有りません。欲の心がムー大陸を沈めました。ムー大陸はそのことをメッセージとして伝えました。喜びを発信しました。喜びを発信したんです。

ブラックを発信したのではありません。ブラックを発信したのは、人間の欲の心です。ドス黒いどこまでも腐り切った欲の心です。

我と我の一族の安泰、繁栄を願うちっぽけな思い。そのブラックのエネルギーこそ、ムー大陸を沈めたのです。」

今、ムー大陸は語ります。田池留吉の磁場の中。反転のエネルギーを受けて、ムー大陸は語ります。

ああ、このエネルギーを感じます。確かに、確かにありがとうと、ムー大陸はそのようにして、形を崩していきました。形が崩れていくことが喜びだったんです。喜びのエネルギーを私達に伝えてくれました。形を崩すことによって、喜びのエネルギーを伝えてくれました。

反転のエネルギーを心に広げ、ムー大陸を思い、そのエネルギーを包んでまいります。

ムー大陸は喜びだったんです。しかし、そこに湧き起こるブラックの世界、その世界こそ私達の心の中に今もしっかりと眠る世界です。このブラックの世界をしっかりとこれからこの宇宙の中で包んでまいります。

ムー大陸よ、ありがとう、ありがとう。

何度、何度大きな大陸を沈めたら、私達の心の底からの喜びに出会えるのか。そのような思いで私達は、ムー大陸もアトランティス大陸も沈めました。心の中のエネルギーを感じます。母の温もりの中へ帰ろうと、そのエネルギーをしっかりと呼び起こすために、大きな大陸が沈んでいきました。

ああ、しかし、心の中を見てこなかった人間達の意識、その真っ黒な、真っ黒な闇黒の世界の中でのたうち回り、闇黒の世界に沈み込んできた転生の中に、今、今、ようやく一筋の光が差し込みました。一筋の光が大きく、大きく、太く、太くなっていく。

その光が広がっていく。その光が宇宙を照らしていく。その道筋にある250年、300年であることを心が告げてくれます。

ありがとうございます。次元移行へ心に向け、そして闇黒の宇宙をしっかりとしっかりと心に包み込んでいきます。

ムー大陸よ、ありがとう。ムー大陸よ、ありがとう。

ムー大陸からのメッセージを心に受け、私達は今、心の中をしっかりと見つめてまいります。ああ、当時、私達はムー大陸とともにこの肉体を捨てた意識の集団です。その集団が今、語ります。

「田池留吉の磁場に心に向けなさい。反転のエネルギーを自分達の心の中に伝えなさい」。そのメッセージをしっかりと受け止めて、私達はこの喜びのエネルギー、温もりのエネルギーとともに、一步を歩んでまいります。

私達はムー大陸と運命をともにした意識です。私達は今語らせていただき、ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

磁場、反転のエネルギーを心で本当に感じていくには瞑想以外にありません。

反転と発信できる喜びを、瞑想でたくさん、たくさん感じてください。

反転と発すれば、自ずと異語を発しています。異語を発することにより、私は、私の中で、ああ、この世界を共有しているんだということを実感できます。私が私と対話している、そして、ああ、

この方向だよと確認し合っている、そんなことを心に感じます。

だから嬉しいんです。反転と発すれば、自分の中がみんなある一定方向に向いていくような感じです。向いていけば感じていくのは、温もり、優しさ、喜びです。

目を閉じて思いを向ければ、確実に心に響いてくる世界。心に伝わってくる世界。これほど具体的なものはないと私は思っています。

そこには、お母さんありがとうしか出てきません。

そんな瞑想を淡々と繰り返し、淡々と重ねていけば、それでいいということは分かっています。

どんなに凄まじいブラックのエネルギーも、反転と発すれば、心に響き伝わってくるのは喜びです。温もりと優しさに満ち溢れた中で、反転と発することができる喜びを、凄まじいブラックのエネルギーが教えてくれます。

ブラックのエネルギーを包み込み、さらに大きく広がっていき、そんな楽しみと喜びを味わえる瞑想の時間です。

自分の心と向き合うこと、自分と向き合うことの大切と喜びと幸せを私達は学んでいます。

セミナーに集い、そこで見て聞いて、そして身体で体験したこと、また自分の心で体験したことを、自分の中に戻し自分の中で咀嚼<sup>そしゃく</sup>し、永遠に続く自分の中で活用していく、こんな幸せな道筋を辿っている今を喜んで、喜んでいきましょう。

どんなに辛くて悲しくて、そしてまた大変なことも、一瞬自

分の中を反転とすれば、その辛さ、悲しさ等々は、必ず良かった、嬉しい、ありがとう、本当にありがとう、間違ってきました。しかし、こうして心で気付いていくことが本当に嬉しい、その他、何とも言えない喜びが自分の中から突き上がってきます。

真剣に真摯に自分と取り組んでいきましょう。自分と向き合っていきましょう。せつかく自分に用意した肉を持つ今という時間を大切に、大切に、自分を大切にしていきましょう。

心から喜びで自分の肉の人生を全うできる、それは、自分の中の温もりと喜びを信じられる状態になる、それ以外にはないのです。

その気になれば、いつでも、誰でも、どこでも学んでいけます。学ぶ材料は日々、どなたの周りにも溢れているし、学ぶ方法もまたすでに示されています。

あとはその人次第です。本人の問題です。学ぶ環境はどなたもすでに整えられています。

私はこうでないから十分に学べないというのは違います。

そもそも生まれてくること自体が、学ぶ環境そのものを自分に用意したということなんです。

セミナーに参加できない事情があるならば、本とホームページをじっくり心で味わってください。

今は磁場と反転です。学びの中心は磁場と反転です。

そこから絶対にぶれないで、お母さんに産んでもらったことを、ただただ喜んで、喜んでいきましょう。

学びを真剣に素直にやった人であるならば、学びの歩みは遅くとも、必ず、今世、産んでいただいたことに心からありがとうと言えるでしょう。

「お母さん、ありがとうございます」、心からそう言える人生がどんなに喜びで幸せな人生であるか、残された肉の時間の中で堪能していきませんか。

すうっと目の前に広がる真っ直ぐの道。

今、肉をもらってその真っ直ぐの道を歩く喜びを感じています。探し、探し、そして求めてきた道。本当の安らぎの道。本当の喜びの道。

思えば、ただただ幸せです。何もありません。心に広がっていくのは、この道が真っ直ぐに続いている喜びだけです。

思えば、その喜びが心に広がっていきます。

私は瞑想を淡々と重ねています。そして、学びの友達と喜びのお勉強をさせていただく機会にも恵まれています。

反転のエネルギーの喜びと幸せと温もりを感じさせていただきました。お母さんありがとう。心の中にありがとうが広がっていきます。

学びの友達とのお勉強、私には喜びです。心から反転のエネルギーを流します。集まる人達の人数、私には関係がありません。こうして目を閉じてその場を思い起こすとき、私は、たくさんの、たくさんの宇宙達、喜びへ帰ろうとする意識達が集っていること

を感じます。

田池留吉、アルバートのもとに、磁場のエネルギー、反転のエネルギーを心の中にしっかりと広げていこう。その肉を一つのきっかけとして、すべての意識達に、この磁場のエネルギー、反転のエネルギーを伝えていける喜びの場。そのことを感じさせていただけます。それがとても嬉しいです。

「ともに帰ろう。ともに私達のふるさと、母なる宇宙へ帰ろう。温もりの自分へ帰ろう。」

そんな力強いメッセージを心に広げられる喜びの場。私はたくさん、たくさん、心の中に届けます。ありがとうございます。ありがとうございます。

マイナスのエネルギーをプラスに変えていくという特段の意識もなく、自然に自分の中に反転と、自分に反転と思いを向けられる状態、そういう状態になっていれば最高です。

母を思い、自分を思い、そしてありがとう。ありがとうの中にある自分を感じていけば、もう言葉はありません。

自然に反転です。それは思うだけでいいんです。

自分にありがとうが言えて、自分からありがとうが返ってきてという、そんな状態になっていれば、幸せとか喜びとか温もりとか嬉しさとか、言葉で言えばそういうものが自分の中から湧いて出てくるのを感じます。尽きることなくあるんです。

瞑想、本当の自分と出会える時間と空間です。だから瞑想は喜びです。瞑想はパワーです。思うことは喜びであり、パワー。そ

んな時間を持たせていただいていることにありがとうしかありません。

磁場、反転の瞑想。心を向ければアルバートしかないことを感じます。

つまり、250年、300年の次元移行の意識の流れだけを感じます。

アルバート、そう心で呼ぶ幸せと喜びだけが心に広がっていく瞑想の時間です。

アルバート、母なる宇宙、それが私の私達のたった一つの望みでした。

宇宙を思う、アルバートを呼ぶ、私の中にアルバートを伝える。磁場、そして反転のエネルギーに触れていくほどに、その思いが私の中で凝縮されていくのが分かります。

心に向ける。心を合わせる。自分を救い上げる唯一の手段。

淡々と瞑想を重ねていきます。淡々と瞑想を重ねていける、それがすでにもう喜びでした。ありがとうございます。

意識の世界は瞬間的なもの。一瞬発信する思いを確認し、そしてその一瞬それを反転する。一瞬で自分の中が変わる喜び。

今、肉を持っているから、やはりこの肉というクッションは、自分の闇の世界を相当和らげていると判断していいと思います。

だからこそ、肉を持っている今、一瞬に自分の心の針に向ける、

合わせる学びが本当に必要だと感じます。

自分の中の温もりと喜びを本当に信じる状態でなければ、肉を離したあと、心の針を向ける、合わせることはとてもとても容易なことではない。

学びが進み、意識の世界を感じてくればくるほどに、喜びと確信は大きくなりますが、それとともに意識の世界の厳しさもひしひしと伝わってきます。

私には、たった一つ確かなことがあります。

それは、アルバートと思いを向けたときに感じ広がっていく世界です。

アルバート、ここにすべてが集約されていくのが分かるんです。

アルバートと思いを向けられる、アルバートと心から呼ぶことができる、これが私にとって本当に嬉しい、嬉しいことなんです。

もちろん、アルバートとは波動です。アルバートとはエネルギーです。

宇宙達がアルバートと呼ぶのは、そこが自分達の帰っていく母なる宇宙だからです。

だから、ただアルバートと思いを向けることが喜びで、アルバートと呼んでいけることが喜びで、そうできることをどんなに待ち望んできたかが、私は、目を閉じて、心の針を向け、合わせていけば分かるんです。

このことは、どんなに言葉を重ねても説明できることでないけれど、だけど、確かにある喜びと温もりの世界です。

アルバートがあるから、反転と発信できる。アルバートを感じるから、さらに反転と発信できる。

250年の間、どのように存在しているか、今、心で感じています。

粛々と流れている意識の流れを心に感じながら今日も瞑想ができる、そんな時間と空間を持たせていただいていること、こんなに恵まれた人生はありません。

心に向けられる喜び、心に響いてくる喜び、心から発信できる喜び、ああ、本当に喜びの連鎖です。

自分の帰るべきところを知り、帰る道を歩いている、この確信があるから、自分が作ってきた闇の世界にどんどん喜びと温もりを伝えていける、本当に自分の中にこの喜びと温もりがあったんだ、そんな喜びで、どんどん自分に伝えていける、喜びの連鎖です。

瞑想は最大の愛です。瞑想は最大の喜びです。瞑想をして自分と出会える喜びは本当にすごいことだと思っています。

そんな瞑想の時間と空間に恵まれた人生は喜びの人生でしかありません。

意識の世界には、マニュアル、つまり手引書など基本的にはないです。

こうしてください。そうすればこうなる。だからこうでしょう。ということは確かに言えます。

しかし、それはある程度までです。あとは、それぞれ次第であり、しかも、そのあとのほうがとても大切なことだと言えます。

つまり、心で感じそれを信じていくことです。

瞑想という実践を重ねていくことです。日々の生活の中で反転の実践を重ねていくことです。

心で感じ信じている度合いが高ければ高いほど、どんどん実践していけます。どんどん実践していけばさらに感じ信じる度合いが高まってくる、やはりそれぞれ次第です。

学んでいく過程で、その時、その時のポイントが示されてきました。たとえば、過去において、田池留吉からのメッセージを受けるとか、一時間瞑想を励行するということがありました。

そして今は、磁場と反転、特に反転と瞬間的に心に向け、合わせる訓練です。

いつの時も、共通して大切なことは実践力です。

自ら率先して実践していこうとする前向きな姿勢です。

この学びについての知識など、文章にすれば、たったの一行です。

あとは、実践あるのみ。自分の心で感じ、心で体験して、心で発見して、心で驚いて、心で納得して、心で実践していくだけの学びです。

そうしていけば、誰でも簡単に分かるようになっていきます。

しかし、その分かったことは、ほんの僅かな、僅かな部分です。意識の世界は限りがない世界。心に向けていけばいくほどに、そういうことも自然に心で分かってくるから、また楽しいというこ

とになってきます。

セミナー三日目、最後の瞑想。強烈な波動。異語を通して瞬間的に強烈に心が反応する。ただただそれが心地よかった。

この瞑想だけで、十二分に学ばせていただきました。すごいとしか言いようがありません。

温もりと喜びに反応する私の中のたくさんの、たくさんの意識達。たくさんの、たくさんの宇宙達。

形を見れば、身体はじっとしてられず、エネルギーはもちろん口からも音として噴射していく。

肉を通して、そのすごいエネルギーを解き放していける喜びです。

何と表現していいのか適切な言葉などありませんが、宇宙の大爆発というか、次元移行へ流れていく意識達の雄たけびというか、すごいエネルギーの軍団が、異語の波動に瞬間的に反応していく様をつぶさに感じる事ができました。

セミナー最後に発信された異語、本当によかった。本当に嬉しかった。あの瞬間を体験できたことで、もう十二分に幸せです。

嬉しくて、嬉しくて、はい、はい、はい、ああ、そうだ、そうだ、そうなんだと、私の中がはじけ飛ぶような、そんな感じでした。

心の針を中に向けているか、外に向けているか。一日のうちどれだけの時間、中に向けているか、外に向けているか。

中に向ける時間が多ければ多いほどいいのは言うまでもないことです。

忙しい毎日の生活の中でも、ふっと中に向ける時間はあるはずです。瞬間的に思うことが大切です。一瞬、反転と発する訓練を積んでいくことが、意識の世界のレベルを自ら引き上げます。

レベルアップ。心をゆったりとさせながら、心の針の向け先の確認を続けていけば、いつの間にか反転力は高まっていきます。

瞬間発する反転力の強さ、自分の中の温もりと喜びを信じる信の深さ、強さ、そういうものを自分の中で学び、そして確認してまた学んでいく、その自己確立の道を着実に歩いていけばいいんですと、私は私にメッセージを送りました。

あなたは本当に母の反省をやってきましたか。母の温もりを心に感じ広げ、お母さんに思いを向けて瞑想をすれば、ただただ温もりと喜びだけが広がっていく今ですか。

それとも、母を思った時、未だにくそったれが出てくる状態でしょうか。何年もお勉強されていて、もしそのような状態であれば、それは由々しきことです。自分で自分の今の状態を診断して、真剣に学びに取り組んでください。

みすみす学ぶチャンスを自ら逸していくことは本当にもったいないです。私達には莫大な過去世があります。一筋縄ではいかない過去世を抱え持っていることを感じてください。あなたは今のあなた一人ではないことを、母の反省を通してしっかりと知ってください。

未だに自分の呪縛から解き放つことができない状態というのはどうしたことなのか分かりますか。素直になっていきましょう。

自分の中の何が間違っていたのか、何を見誤ってきたのか、それを自分で確認していくことがなければ、何年学んでも、どんなにセミナーに集っても……というのが本当のところですよ。

学びは結果が出ます。自分に真摯に誠実に取り組めば、自分に良い結果が出てきます。自分に良い結果というのは、もうお分かりだと思います。分からないならば、まずそこから学び直してください。

自分を見つめていけば、自分を感じていけば、どんどん心が広がっていく、そんな態勢を今、自分の中に整えていけるような学び方をしていきましょう。その具体的なことはもうすでに提示されています。こんなに恵まれた環境の中で、学んでいかないというのは本当にもったいないことだと思います。

反転の実験のことですが、色々試されている人もあるかと思いますが、まず、水道水を使った反転が100%できるようにしてください。

水道水を使って反転をすること、これができればメガネとか他のことにも応用できるんです。

家で、水道水の反転が100%できること、まずこれを達成してください。

100%です。100%と言うのは、完全にできることを言います。

その際、必ず以下の要領で、二人一組で実験をしてみてください。用意するもの。ガラスコップ一個。水道水。

1. ガラスコップに、水道水を七分目程度注ぐ。
2. 一人が、そのお水をまず一口飲む。味、におい等を記憶しておく。
3. そのガラスコップを片手に持ち、もう片方の手で、リングを作る。リングを作った指先は軽く合わす程度で、指に力を入れない。
4. もう一人が、そのリングの中に、両手の人差し指を入れて、親指とでリングを作る。その状態で左右にぐっと水平に腕を動かし、相手のリングの硬さを確かめる。
5. ガラスコップを一度、テーブルに置き、田池留吉の磁場と思い、そしてガラスコップのお水に意識を向け、反転と発信する。
6. 上記の2～4を繰り返す。

家で、水道水の反転が100%できること、まずこれを達成してから、次の段階に進むようにしてください。

セミナー会場にやってきて、何かを教えてもらおうという時期はもうすでに終わりました。

今は自宅学習を積んで、それをセミナー会場で確認し、そしてそれを自宅学習に活かしていくということでしょう。

もっともそういう学習姿勢は今に始まったことではなくて、セミナーにある程度参加していれば、そういうふうになっていっているというのが自然だと思います。

たとえば、今で言うならば、お水の反転実験、要領は一回聞けば分かります。あとはそれを自分で徹底していくという実践力、そういうものが学びを自分のものにしていくかどうかを左右します。

もちろん、反転というのは、自分の中を反転していくことが中心です。

その実践をどれだけやっているか、同じようにセミナーに参加していてもその差はどんどん開いていくでしょう。

残り少ないセミナーです。本当に活用してってください。

私は私に本当のことを伝えるために生まれてきたし、自分の中のたくさんの自分と次元を超えていくために、今こうして自分に肉を持たせて学んでいることも、すでに確認済みです。

瞑想を重ねていけば、ただその自分の目的だけが心に上がってきます。

そして、私がそうであるから、みんなもそうなんだということは分かります。

そしてまた、このことはそれぞれが自分の心でそうだと確認しなければ、どうなるものでもないということも分かります。

どれだけ間違ってきたことを繰り返してきたか、自分の心に響いてくれば、今こうしてくださいと伝えてもらっていることは、どんなにすごいことなのか、ああ、本当に私は幸せだと心に染み入る事柄です。

もうまやかしは一切通用しない。似て非なるものの実態がどんどん明らかになって、真実にたどり着くためには、本当の温もりを自分の中に蘇らせること、それしかないことが証明されていきます。

「思えば幸せ、思うだけで幸せ。」

「もっと分かりやすく、私に分かるように説明して」。学び始めた頃、田池先生の話セミナー会場で聞くたびに思ってきました。

そんな私が本当に嘘のようです。

「思えば幸せ、思うだけで幸せ。」

肉、形しか信じられなかった私が、本当に鈍感だった私がこうも変わることができたんです。心に響いてくるということが実感できるなんて、一昔前の私にはとても考えられないことです。

形で示されなければ信じることができなかった私が、形のない世界を感じて信じている私へと変わっていった、私は素直にただそのことを喜んでいきます。私は嬉しい。素直にありがとうと言える私が嬉しい。

鈍感だった私は、瞑想が嫌いでした。嫌いというよりも、瞑想

をしても何も心に響いてくることがなかったから、瞑想というものがよく分からなかったんです。瞑想の良さ、大切さ、瞑想しかないということ、そういうことが、自分の中でなかなか実感できませんでした。

今は全く違います。今は瞑想が楽しい。そして瞑想でしか本当のことは分からないことが分かります。

瞑想は、自分を感じることが出来る時間と空間です。

自分を感じていけることがたまらなく嬉しい。自分に心を開けることがたまらなく嬉しい。こんなこと、本当に今世の肉を持たなければ、絶対に分からなかったことでした。

自分を呼び、自分に心を開け、そうすれば、私の中からどんどんどんどん温もりと喜びが湧いて出てきます。だから瞑想をすることがたまらなく嬉しいです。

反転のお勉強は、瞬間的に心の針をピッと合わせることを学んでいるんだと私自身は思っています。その反転のエネルギーの喜びは、瞑想を通して感じていけます。その実感があるから今は瞑想が欠かせません。

やはり最後は瞑想しかないです。瞑想をする時間をきちんと確保できる生活を用意できるほど幸せなことはないです。

本当のことは心で分かる以外にない。そして心で分かるには瞑想をしていく以外にない。つまり、本当のことは瞑想をしていけば分かるんです。だから、最後は瞑想です。

自分の心に響いてくるからこそ信じられる、そうでなければ信

じることなどできない、私はそういうふうにやってきました。

今、瞑想をすれば、私の心には、次元移行という意識の流れが確実に響いてきます。

250年、300年の喜びが心に伝わってくるんです。そして、その喜びが過去の私に伝わっていくことも感じています。

心は、次元移行という意識の流れをとらえているから、反転のエネルギーを向けることが喜びなんです。喜びで向ければ喜びが返ってくる、そんな瞑想は嬉しいだけです。

今、私は瞑想をすればもう次元移行しか出てきません。次元移行に至る自分を思いながら瞑想の時間を持つ、それが何とも言えないほど幸せです。同時に、もう時間が残されていないことを感じるから、今、心の針を向ける、合わせる、を徹底していこうと自分に引き締めのメッセージがきます。そしてまた同時に、磁場に心の針を向けて反転を励行していれば、私の中から流れる波動は間違いなく仕事をしていきますという、心強いメッセージもきます。

こうして、私は瞑想をする中で自分と対話しながら、自分の行く道を歩いています。その道は一つ。真っ直ぐに続いていることを確認しながら、異語とともに瞑想を続ける毎日です。

みんな母の温かい温もりの中にあります。お母さんありがとうと心から発信するエネルギーを感じていけることが嬉しい。

日々、自分のエネルギーを感じながら、自分の中に真っ直ぐに見えている道を歩き続けることは、喜びしかありません。

日々、自分のエネルギーを感じながら、そしてその自分を思いながら瞑想の時間を持ちます。

自分が自分に用意した時間と空間の中で、今は繰り返し、繰り返し私は私を学習できる喜びとともにあります。本当に嬉しいです。

自分に本当のことが伝えられる、伝えられる自分がここにあることがただただ嬉しいです。

どんなすごいエネルギーも、そのエネルギーの塊であるからこそ、私は自分の中で次元移行という大きな仕事を達成することができるんです。

瞑想で、自分に対する信を深めていける今を本当にありがとうございます。自分を思える幸せ、喜び、瞑想の中でどんどん広がっていきます。

私達は自分の心に帰っていくしか道はないんです。その自分の心に帰っていくということがずっと分からなかった。

しかし、今は、自分の心の針を向ける、合わせることを学び、ようやく自分の心に帰っていくということがどういうことなのか、具体的に心で感じられるようになりました。

本当に自分を粗末にしてきたと感じます。自分の他に何も無いのに、あると思ってきたその思いが間違いであり苦しみだったことを感じていくにつけ、今ここにこうして自分を学ぶチャンスに

恵まれていることが嬉しいです。

自分を学ぶ、自分を感じていく、それは本当にありがたいことです。

道徳とか倫理で自分を縛るのではなくて、本当に自分を学び、自分を感じていけば、自然に自分の日常生活は規律正しく整然としてきます。シンプルになります。自分の中が整っていくのが形として現れてくる、これもまた意識が現象化してくる一つのサンプルだと私は思っています。

(2012年6月23日掲載分まで)

<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>

意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう 第1巻

---

2012年10月31日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A 会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

---

© 2012 Printed in Japan